

建築と社会 Architecture and Society

特集
私の空間作法－会員作品－

日本建築協会

11
2004

大阪開催

住宅建材・設備から建築工具・金物が一堂に展示

ホームビルダーズエキスポ OSAKA 2004

個の演出と環境への配慮 ―新しい住まいの提案

プロツール&ハードウェアショー OSAKA 2004

会期 2004年 11月25日(木)～27日(土) 10:00～17:00

会場 インテックス大阪(大阪・南港)2・5号館

主催:社団法人 日本能率協会

入場無料

出展内容

【住宅建材・部材】
- □建材・部材
- □住宅リフォーム・メンテナンス資材

【住宅設備・システム】
- □住宅設備・機器
- □バリアフリー設備
- □セキュリティ機器

【エコ・環境関連製品】
- □環境対応資材
- □環境対応設備・技術

【震災対策ゾーン】
- □「耐震・免震・制震」技術・製品
- □各種情報

【建築工具・金物】
- □建築工具
- □建築金物

特別講演会 プログラム

聴講無料 会場:5号館 特設会場 定員:300名／日

当日先着順(直接会場へお越しください。定員になり次第締切らせていただきます。)

〈敬称略〉

11月25日(木)11:00～12:30

「これからの住宅ローンビジネスと住宅業界」



The Mortgage Corporation of Japan

日本住宅ローン株式会社
代表執行役社長 大垣 尚司

11月26日(金)13:30～15:00

「インテリアビジネスデザインをデザインする」
――ファイナンスを組み込んだ住宅設計、インテリアデザインの新しい流れ――



IDÉE

株式会社イデー
代表取締役 黒崎 輝男

※今回の講演会は、(社)大阪府建築士会連合会、(社)日本建築家協会(JIA)のCPD認定プログラムへ申請中です。参加証明書を発行いたしますので、受付にてお申し出ください。

セミナー

聴講無料 会場:2号館特設会場 定員:100名／セッション

当日先着順(直接会場へお越しください。定員になり次第締切らせていただきます。) プログラム内容に関しましては直接発表各社にお問い合わせください。

月日	時間	セミナータイトル	会社名	電話番号	対象
11月25日(木)	12:15～13:45	シックハウス!!―建築基準法改正により問題は解決したか。	(社)大阪府建築士会 相談委員会 シックハウス研究会	06-6910-7289	プロ向け
	14:00～14:45	ウッドブリース外断熱工法	(株)高本コーポレーション	072-803-3361	プロ向け
	15:00～15:45	高性能住宅(次世代省エネルギー住宅)について	小倉サンダイン(株)	06-6584-4771	プロ・一般ユーザー向け
	16:00～16:45	アイシネンが世界の断熱の常識を変える!!	キングラン(株)	047-300-4123	プロ・一般ユーザー向け
11月27日(土)	12:00～14:00	建築家と一緒に住まいをつくる方法	(社)日本建築家協会 近畿支部	06-6229-3371	プロ・一般ユーザー向け
	14:15～16:00	分割発注!オンリーワンの家創り ―今までになかった建築手法"オープンシステム"について―	オープンシステムネットワーク会議・関西	06-6606-5724	一般ユーザー向け

たのし! くらし 創り メッセ あたらし! 同時開催



展示会・セミナー等の詳細・最新情報は

http://www.jma.or.jp/hbx/
http://www.jma.or.jp/tool/

東京開催のご案内

Japan Home & Building Show 2004

[会期] 2004年11月16日(火)～11月19日(金)の4日間 10:00～17:00(最終日は16:30まで)

[会場] 東京ビッグサイト 東1・2・3ホール (有明・東京国際展示場)

[入場登録料] 招待状持参者は無料。その他は有料。(1名につき¥1,000・消費税含む)

※招待状はFAX(03-3434-8076)にてご請求いただくか(11/10(水)〆切)、下記ホームページにて事前登録受付中。

http://www.jma.or.jp/jhbs/

Japan Home & Building Show 事務局
東京都港区芝公園3-1-22 社団法人 日本能率協会 産業振興本部内 TEL. 03-3434-1988 FAX. 03-3434-8076

ホームビルダーズエキスポ OSAKA／プロツール&ハードウェアショー OSAKA 事務局
大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビル28F 社団法人 日本能率協会 関西地域本部内 TEL 06-6261-7151 FAX. 06-6261-5852

会告

日本建築協会・阪急電鉄 共同企画 〈モダン建築再見2004〉 近代建築は関西がおもしろい!

第4回 講演&シンポウジム〈+懇親会〉 パトロンが育てた 建築家と建築

関西の近代建築を考えるとき、注文主であるパトロンたちのありようは、きわめて大きなファクターである。
建築に対して一家言を有し、自らの普請に対しては並々ならぬ誇りと責任をもっていた。今回、客観的な把握が困難といわれるこの問題について、歴史家の立場から分析の枠組みを与え、クライアントの立場から具体像を提供し、さらに建築家の立場から建築風土がもたらす影響を示すこととした。

日　時　2004年12月4日(土)
14:00～16:30
場　所　御影公会堂
［設計：清水栄一　昭和8年］
神戸市灘区御影石町4-4-1
＊御影公会堂見学
13:00～13:30
（定員30名・予約制・
希望多数の場合は抽選）

講　師　福田晴虔
西日本工業大学教授
ほか(交渉中)
橋爪紳也(コーディネーター)
大阪市立大学助教授
定　員　100人（先着順）
参加費　3,000円
＊会員は500円割引
申　込　(社)日本建築協会編集事業課へ催し名、氏名、会員・一般の種別、職場名、連絡先所在地・郵便番号、連絡先電話番号をお知らせください。
〒540-6591
大阪市中央区大手前1-7-31
OMMビル7階（私書箱107号）
TEL.06-6946-6981
FAX.06-6946-6984
E-mail：jigyoka@aaj.or.jp



御影公会堂

《懇親会のご案内》
講演会終了後、シリーズ第１～４回の担当講師陣有志も交えた歓談のひとときをもちます。お料理は御影公会堂の開館以来の歴史をもち、神戸のレトロな洋食屋として知られる公会堂食堂のケータリングです。
多数の方のご参加をお待ちいたします。
・時　間　17時00分～19時00分
・参加費　3,500円

大阪証券取引所ビル 見学会

（再掲）

日　時　2004年11月25日(木)
14:00～16:30
講　師　森　敏幸／大証ビル設計監理共同体課長
増田宗忠／大林・竹中・大成錢高JV所長
集　合　現地／大林・竹中・大成・錢高JV工事事務所
定　員　50人
＊申込者多数の場合は抽選
参加費　会員 1,500円、一般 2,500円
学生半額　＊税込
申　込　11月17日(水)までに
①催し名：大証ビル見学会
②氏名
③会員・一般の種別
④職場名または学校名
⑤参加証郵送先及び郵便番号
⑥連絡先電話番号
をお知らせ願います。
申込先　(社)日本建築協会編集事業課
大阪市中央区大手前1-7-31
OMMビル7階(私書箱107号)
〒540-6591
TEL.06-6946-6981
FAX.06-6946-6984
e-mail : jigyoka@aaj.or.jp

北面外観パース



建替前に建っていた証券取引所旧市場館は、昭和10年に竣工。日建設計の前身である長谷部・竹腰事務所の代表作品で、その特徴的な外観は市民にとって馴染みの深いものであり、建築学会等からも保存の要望が出ていた。
事業主の平和不動産は、保存の要望を受け、学識経験者からなる開発・保存手法検討研究会を発足。その答申を受け、外観の一部を現物保存するなど、保存と開発を両立させることを決定した。建替後は、高さ116m、地上24階建の高層オフィスビルとなるが、低層部は保存外壁を利用した商業施設など多目的用途となっている。高層部は奥行き20mのロングスパンの無柱空間で、床から天井まで全面窓ガラスとし、眺望を最大限採り入れた。また、床下空調を採用するなど高機能の執務空間とした。
外観上は高層棟主要部をガラス張りの現代的な表情とし、低層の石づくりの陰影のある表情と対比させる構成とした。

主　催　(社)日本建築協会
事業委員会情報見学小委員会
担当主査　松浦範明／(株)大林組

●大阪証券取引所ビル建替工事

用　途　事務所、物販店舗、飲食店舗、附属駐車場、附属駐輪場
建 築 主　平和不動産
設計監理　大証ビル　三菱地所設計・日建設計　設計監理共同体
施　工　大林・竹中・大成・錢高共同企業体
工　期　平成14年５月22日～平成16年11月30日（予定）

		市場館	本館
敷地面積	4,720.98㎡	3,797.60㎡	923.38㎡
建築面積	3,676.55㎡	3,052.01㎡	624.54㎡
延床面積	53,932.10㎡	49,686.83㎡	4,245.27㎡
構造規模		S、一部SRC、RC B2F、24F、PH1	SRC、RC B2F、4F、PH1
最高高さ		116.79m	32.44m
最深部		−20.40m	−11.89m
外　装	高層部：花崗岩組込アルミカーテンウォール 花崗岩打込PC版 低層部：花崗岩打込（一部乾式貼り）PC版		コンクリート打放しの上、 二丁掛磁器質タイル改良圧着貼

第50回工高生デザインコンクール入選者発表

— 設計課題：住宅 —

日本建築協会主催による平成16年の標記コンクールの入選者が、右記のとおり決定いたしましたので発表します。なお、入選作品は平成17年１月号に掲載いたします。

●応募校数 / 34校
●応募作品数 / 150点

	氏　名	学　校　名	学年
入選・最優秀賞	伊藤　直也	三重県立四日市工業高等学校	3年
入選・優秀賞	木戸　伸幸	堺市立工業高等学校	2年
入選・優秀賞	坂本　真生	静岡県立静岡工業高等学校	3年
入選	寺田　健人	大阪市立工芸高等学校	3年
入選	梅谷　知枝	大阪市立工芸高等学校	2年
入選	西原　麗	大阪市立工芸高等学校	2年
入選	西川　亮	堺市立工業高等学校	3年
入選	望月　邦旭	静岡県立静岡工業高等学校	3年
入選	西村　吉幸	三重県立四日市工業高等学校	2年
入選	雨宮　久美	山梨県立甲府工業高等学校	3年

順不同・敬称略

2004年建築関係団体合同忘年懇親会

日　時　平成16年12月14日(火)
　　午後６時～７時30分
会　場　太閤園迎賓館
　　ダイヤモンドホール
　　大阪市都島区網島町9-10
　　電話 06（6356）1111
参加者　350名予定
会　費　6,000円
　　11月19日(金)までに事務局へお越し下さるか、現金送金にてお申込み願います。
余　興　「JAZZ演奏」

お願い
(1) 申込の際に氏名(ふりがな)・勤務先をお知らせ下さい。
(2) 申込者で11月22日(月)までに欠席の連絡がない場合は会費のご負担を願います。

●「淀川邸」見学
・12月14日17：00頃から見学可能。
・定員50名
・申込多数の場合は抽選。
・見学いただく方には後日「見学会参加券」をお送りいたします。

見学を希望される方は「忘年懇親会」参加申込み時に「淀川邸見学希望」と明記の上、11月19日までにお申し込みください。11月20日以降は受け付けいたしません。
また見学会のみの参加はできませんのでご注意ください。

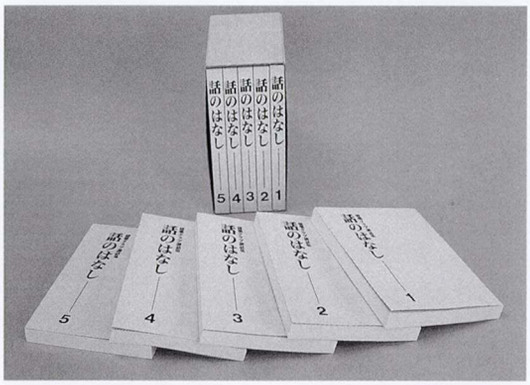
2005年建築関係14団体合同新年交礼会

日　時　平成17年１月４日(火)
　　午後２時30分～３時30分
会　場　マイドームおおさか・３階
　　大阪市中央区本町橋2-5
参加者　750名予定
会　費　5,000円（当日欠席されても会費をいただきます）
申　込　12月６日(月)までに会費を添えて最寄り団体にお申込み下さい。
共　催　(社)日本建築協会（当番会）
　　(社)大阪府建築士会／(社)日本建築学会近畿支部／(社)日本建築家協会近畿支部／大阪建設業協会ほか９団体

問い合わせ先／日本建築協会総務課　TEL.06-6946-6981

講演記録集「話のはなし」残部頒布します!

昭和47年6月に発足した「建築クラブ」（日本建築協会会員有志の集まり・現在休会中）は1997年、朝食会の第300回を記念して、講演速記録を集約し、最終的に118回分を5冊1セット（1冊平均約320ページ）の本にして発行いたしました。
「話のはなし」の講話の内容はとても多彩で、「おもしろい話」「貴重なはなし」「裏ばなし」などがいっぱい詰まっています。
頒布価格は2,500円（税・送料込み）。
ご希望のかたは電話またはFAXでお申し込み下さい。



B6判　5分冊

申込先：日本建築協会事務局　TEL.06-6946-6981　FAX.06-6946-6984

建築と社会11 2004
Architecture and Society
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

1917年創刊　第85集／通巻992号

今月の表紙

企画／高野直樹
企画と写真／伊藤　彰
表紙デザイン／窓田衣里

●太さの違う線が織り成す綾織り模様。空を見上げて、まず目に入るもの“電線”です。電線の地中化は、ロンドン・パリ・ベルリンにおいてほぼ100％整備されていますが、日本は東京23区で5.2％、大阪市で2.2％とかなり立ち遅れています。無電柱化によるバリアフリーの歩行空間形成、都市景観の向上、地震や台風などの災害防止等、さまざまな解決に役立つものであり、昭和61年から国土交通省により推進されています。整備地域が拡大され、将来、架空電線が日本の懐かしい風景の一部となることを期待します。
（高野直樹）

■特集予告
12月号／第51回青年技術者
1月号／震災から10年～震災により生まれた都市再生の潮流～
2月号／健やか

編集委員会（平成16年度）

■副会長	永原　吉浩
井上　豊	難波　尚
中井　進	△肥嶋　好浩
■編集担当理事	向井　洋一
上原　正行	安田　拓矢
岡田　聿之	山本　健二
久我　三郎	□設備分科会
佐藤友美子	△梶井　宏修
◎設楽　貞樹	河井　康人
竹中　統一	河津　隆之
立成　良三	近藤　国夫
広原　盛明	近藤　正一
堀田　修二	多賀　浩三
■特集小委員会	田ノ畑好幸
□計画分科会	谷野　太志
★計画系	桝井　貴廣
飯田　匡	松浦　肇
伊縫　憲幸	村上幸三郎
鈴木　克彦	□施工材料分科会
田中　直人	植田　実
高橋　和也	竹中　秀文
辻　武之	太刀川丈爾
△紅谷　昇平	（未定）
松田奈緒子	平田　茂良
三宅　次郎	平野　剛
森　康郎	△吉田　正友
吉村　英祐	□法令分科会
★建築計画系	坂中　信隆
荒木　宏之	鶴田　和幸
江副　敏史	野村　彰
奥村　朋孝	溝上　省二
菅野　忠司	△山口　一郎
木多　彩子	山根　正利
楠　敦士	■作品作風小委員会
小林　優子	赤木　隆
桜井　則雄	石塚なぎさ
静　茂夫	居内　章夫
△所　千夏	井上　雅祐
野田　隆史	池上　明
枇杷　健一	川上比奈子
松森　織江	倉渕奈千子
★インテリア・住生系	澤田　純一
阿部　泰浩	寺岡　宏治
加藤　力	鞆野　淳司
黒栁　亮	○中村　文紀
高野　直樹	林　孝司
△田中　浩介	前川　治彦
戸井賢一郎	増田　敬彦
西田　和子	山田　俊紀
ペリー史子	■広告企画小委員会
本山　仁	荒本　俊明
□構造分科会	石塚　俊明
稲田　竜也	大竹　賢次
大氏　正嗣	斉藤　治久
大住　和正	竹内　健介
木下　隆嗣	前田　衛
白髪　誠一	横田　和生
田渕　勝道	○渡邊　浩文

◎委員長 ○副委員長 △幹事

印　刷　2004年10月25日
発　行　2004年11月1日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市中央区大手前1-7-31
電　話　06-6946-6981
振替口座　00910-9-39975
印刷所　青葉印刷株式会社
(株)NPCコーポレーション
定　価　1200円〔税込〕

CONTENTS

特集●　私の空間作法—会員作品—

新たなすまいと人生●岡崎善久 — 12
玄と翳の空間●早崎伸一＋大本泰二郎＋平尾和洋 — 13
重力の消えた家●森村政悦 — 14
浮遊する屋根●村重保則 — 15
大樹で結ぶ空間●新居照和 & ヴァサンティ — 16
風景に参加する●上谷重男 — 17
長い視線をつくり出す●塚口明洋 — 18
先輩の普請●河南重雄 — 19
内包された半外部空間の演出●平井浩之 — 20
回遊性のある住まい●岸　— — 21
柔らかな光が差す浄域●長瀬博— — 22
平成の邪趣を創る●村上幸三郎 — 23
明治の蔵がよみがえる●元廣清志 — 24
お母さんの視点で考えたクリニック●中尾勝悦 — 25

会告　〈モダン建築再見2004〉④パトロンが育てた建築家と建築.大阪証券取引所ビル見学会.第50回工高生デザインコンクール入選者発表—設計課題:住宅—.2004年建築関係団体合同忘年懇親会.2005年建築関係14団体合同新年交礼会.講演記録集「話のはなし」残部頒布します! 1

作品作風　大津町運動公園総合体育館 4
国分寺文書センター 6
アーバネックス神山町ビル 8

gallery　「ささやかな余裕」（柿木　薫）●澤田純一 10

法令コーナー　法改正シリーズ・3　改正建築基準法の概要—単体規定関係—●中川啓三 27

構造の頁　神戸質屋会館の構造設計—鉄骨造ケージ構造への取り組み●白髪誠一 28

information　「創る人・創るモノ・創る街」.ART BOX NAGOYA 2004.「再生・リフォームにかける」.ひょうごまちづくりセミナー.ロレアル賞連続ワークショップ2004開催.「村野藤吾と1940年代」展—京都工芸繊維大学にて—.伊達伸明建築物ウクレレ保存計画.宇佐美圭司—『アテネの学堂』より歩み出す—.「名古屋デザインDO! 2004」展.脇田美術館で入選作品展.「ロートレック賛歌」.『秘められた黄金の世紀展—百済武寧王と倭の王たち—』.国立国際美術館「マルセル・デュシャンと20世紀美術」展.京都北山景観シンポジウム十関西交流会へ参加者募る.茶室建設記録映画鑑賞.大阪・南港で展示会開催 29

月間の動き　平成16年9月分 32



所 在 地 ――熊本県菊池郡大津町大字森地内（大津町運動公園内）
敷地面積 ――259,481㎡（内、建設用地約8,200㎡）
建築面積 ――　4,572.143㎡
延床面積 ――　5,813.263㎡
構造規模 ――RC、一部S、2F
工　　期 ――2002年４月～2003年12月
最 寄 駅 ――JR豊肥本線・肥後大津駅
撮　　影 ――福澤昭嘉

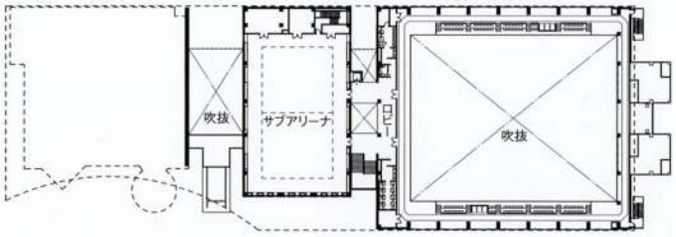
作品風

設計・監理■
独立行政法人 都市再生機構、昭和設計・マック設計共同体

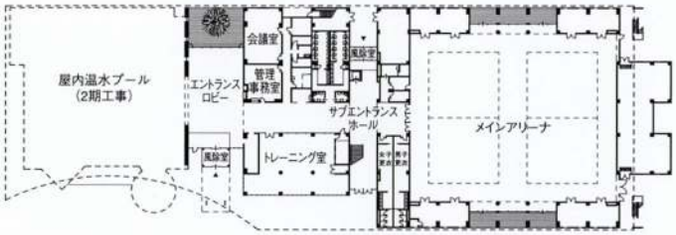
施工■
建築工事：五洋・日動特定建設工事共同企業体
電気設備工事：沖・新星特定建設工事共同企業体
機械設備工事：三機・上田特定建設工事共同企業体

大津町運動公園総合体育館

この建物は美しい阿蘇の外輪山を望む大津町運動公園内に建設された総合体育館である。
周辺にはサッカーグラウンド・陸上競技場・弓道場などが整備されており、これらの施設と連携した生涯スポーツの拠点となることが期待されている。
本計画では大きなボリュームを占めるメインアリーナ・サブアリーナ・屋内温水プール（２期工事）のそれぞれを中心として建物を３つのブロックに分け、まとまりのある明快な構成とすることで利用者に分かりやすい施設づくりを目指した。
また各ブロックの隙間はガラスカーテンウォールで囲み、屋内外と連続する抜けのあるエントランス空間として計画している。
体育館施設は機能上、外部に対して閉鎖的になりがちであるが、ガラス張りのトレーニング室や屋内温水プールをエントランス前の広場に面するように配置することで賑わいが滲み出るよう工夫した。
外観デザインにおいては３つのブロック構成をそのまま表現するとともに、伸びやかな大屋根で全体を覆うことにより周辺の雄大な風景との調和を試みた。　（高木秀晃／昭和設計）



２階平面図



１階平面図　１：800









文書倉庫にふさわしい堅牢な印象を与える外観。はね出した庇と各段ごとの水切りアングルは、長大な壁面に陰影を与えると同時に、雨だれによる汚れを最小限におさえる。
また熱収支が大きくなる開口部まわりは、抱きを深くとり、直接の太陽光の進入を最小限に押えている。

作品
作風

設計・監理■
竹中工務店

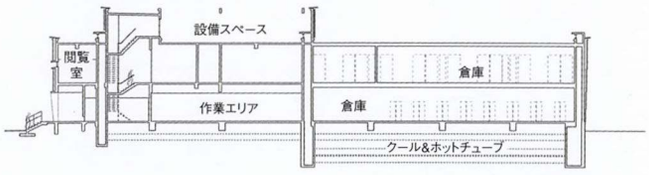
施工■
竹中・合田共同企業体

国分寺文書センター

高松市郊外に立地する、銀行の文書センター。
従来の文書倉庫は、利益を生まない社内施設であるがゆえ、運営費低減のため冷暖房を備えないものが一般的で、従業員は、夏季は酷暑、冬季は底冷えのなかでの作業を余儀なくされている。
この施設では、シルバー人材や女性人材でも無理なく働ける倉庫環境を、冷暖房をなしで実現すべく、クール＆ホットチューブによる涼風・暖風換気システムを採用している。これは、年間を通じて摂氏15℃前後に保たれた地下3.5ｍ近辺に熱交換パイプを敷設し、外気をこの熱交換パイプを通じて屋内に送り込み、夏季は涼風、冬季は暖風を供給するシステムである。
また、伝統的な土蔵の断熱性能に着目し、外壁と屋根の高断熱化、開口部を極力小さくし庇を設けるなど、自然エネルギーの恩恵を最大限に活かすための周辺技術とデザインを採用している。たとえば、外壁は、コンクリート壁とリブ付押出し成型版の間に通気層を設けたダブルウォールを採用、十分な断熱性能と同時に、十分な耐火性能を獲得している。
この施設は、自動的かつ継続的に、各所の温度、湿度、換気風量、自然エネルギーの利用量を計測するシステムを備えており、今後このデータを収集、検証していく。　（酒井利行・坂口武司）



配置図兼１階平面図　１：1200



断面図　１：800

所 在 地 ――香川県綾歌郡国分寺町
敷地面積 ――4,084.89㎡
建築面積 ――1,562.54㎡
延床面積 ――3,051.80㎡
構造規模 ――RC、2F、P1
工　　期 ――2003年11月～2004年６月
撮　　影 ――古川泰造


▲伝統的な土蔵に習った堅牢な印象の外観


▲壁面を一定の比率で分節し、圧迫感と単調さをやわらげている

▼倉庫内観





作品属性

基本計画・監修■
PPI計画・設計研究所

設計・監理■
大林組本店一級建築士事務所

施工■
大林組

アーバネックス神山町ビル

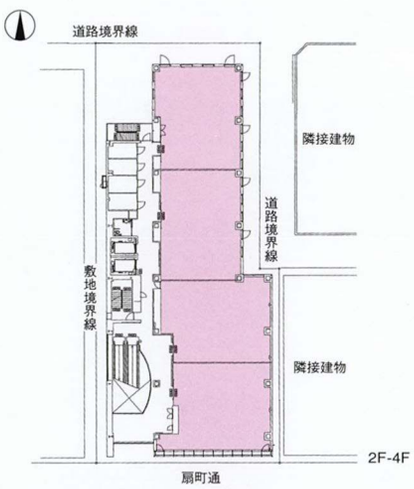
関西の小劇場で重要な役割を担ってきた扇町ミュージアムスクエアが2003年春、惜しまれながら閉館した。この跡地に「地域に密着した施設づくりを」というクライアントの願いを込めた“扇町メディックスモール（愛称）”が誕生した。

施設は、きめ細やかな医療が受けられる複数科目の専門医療機関と調剤薬局とから構成され、利用者にとって利便性の高い総合クリニックビルが目指されている。

幅員27mの扇町通に面する外観は、ダブルスキン・カーテンウォールを形成し、屋上庭園と共に省エネルギー効果を向上させている。カーテンウォールは、外部側ガラスを不透明にすることで街に対するやさしさの創出と、クリニックという用途にあったプライバシーの保護的機能を担っている。屋上庭園は、クリニック使用者が自由に利用できるようスロープや手摺を設け、患者や家族の不安・緊張を取り除く、ひとにやさしいリフレッシュゾーンとなっている。

モール内部の空間構成は、エントランスから５階までを貫通するタテのメインストリート（エスカレータ吹抜空間）を中心に各階へのストリートが有機的に結びつくシンプルでわかり易いものとなっている。この吹抜空間は、白を基調に、トップライトとガラスブロック壁からのやわらかな自然光を効果的に用い、床のフローリングと併せて、清潔で親しみやすいものとなっている。

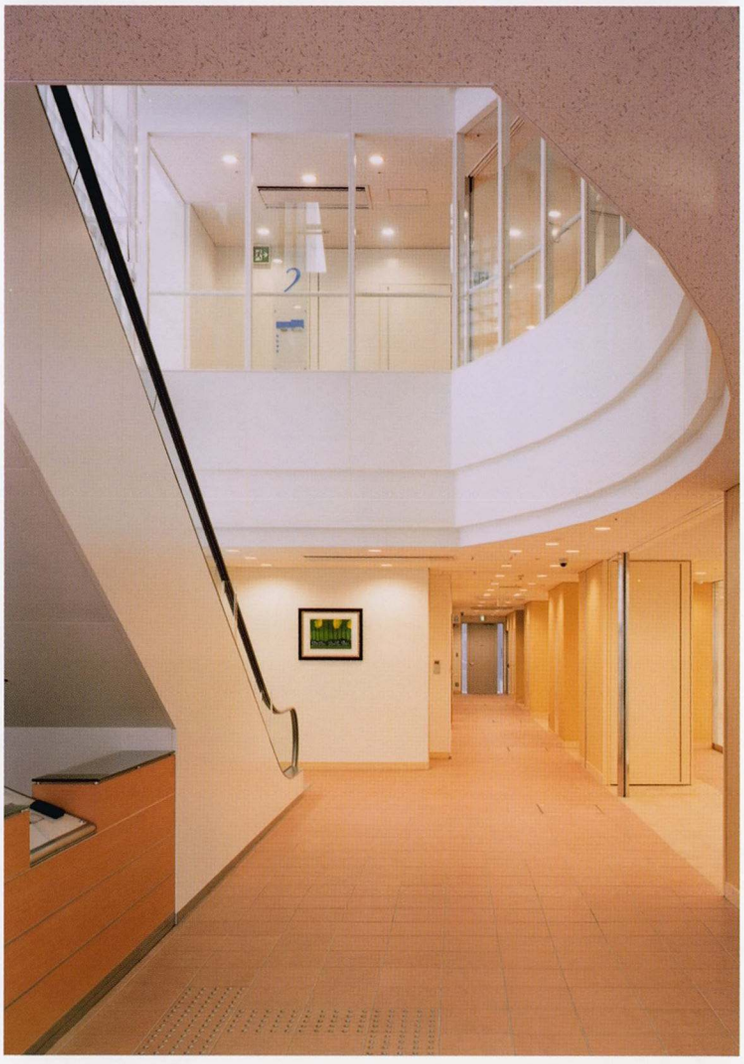
（三好庸隆、内仲毅／PPI計画・設計研究所、岩下博美、松井宣明／大林組）



所 在 地 ——大阪市北区神山町
敷地面積 ——1,068.20㎡
建築面積 ——　861.58㎡
延床面積 ——4,059.38㎡
構造規模 ——S、5F
工　　期 ——2003年12月～2004年８月
最 寄 駅 ——地下鉄堺筋線扇町駅
撮　　影 ——津田裕之（エスエス大阪）







gallery

ささやかな余裕

設計
柿木　薫

夫婦と子供２人の暮らす住宅。２階の一部が、デザイナーである施主夫婦の仕事場となっている。
名古屋市郊外の閑静な住宅地にある敷地は、間口が狭く南北に細長い形状をしている。その形状に素直に従い細長の平面を配置、施主の要望であった中庭をその長手ほぼ中央に設けた。玄関から中庭を介してちょうど正面に見える階段横には、ほんの僅かな空間があり、季節ごとのしつらえや施主の作品が来客を出迎える。全体の床面積を考えると広すぎる玄関や、階段横の特に意味の無い空間、そして中庭。小さな住宅の、限られた面積内であるからこそ、こういった無駄とも思えるささやかな余裕をつくることで、それが全体にもたらす効果を期待した。







柿木　薫
1967　大阪府生まれ
1991　愛知県立芸術大学美術学部卒業
1999　早稲田大学専門学校建築設計科卒業
2002　柿木建築設計事務所設立
撮　影　伊藤　彰

企画編集　澤田純一（作品作風小委員会）



私の空間作法

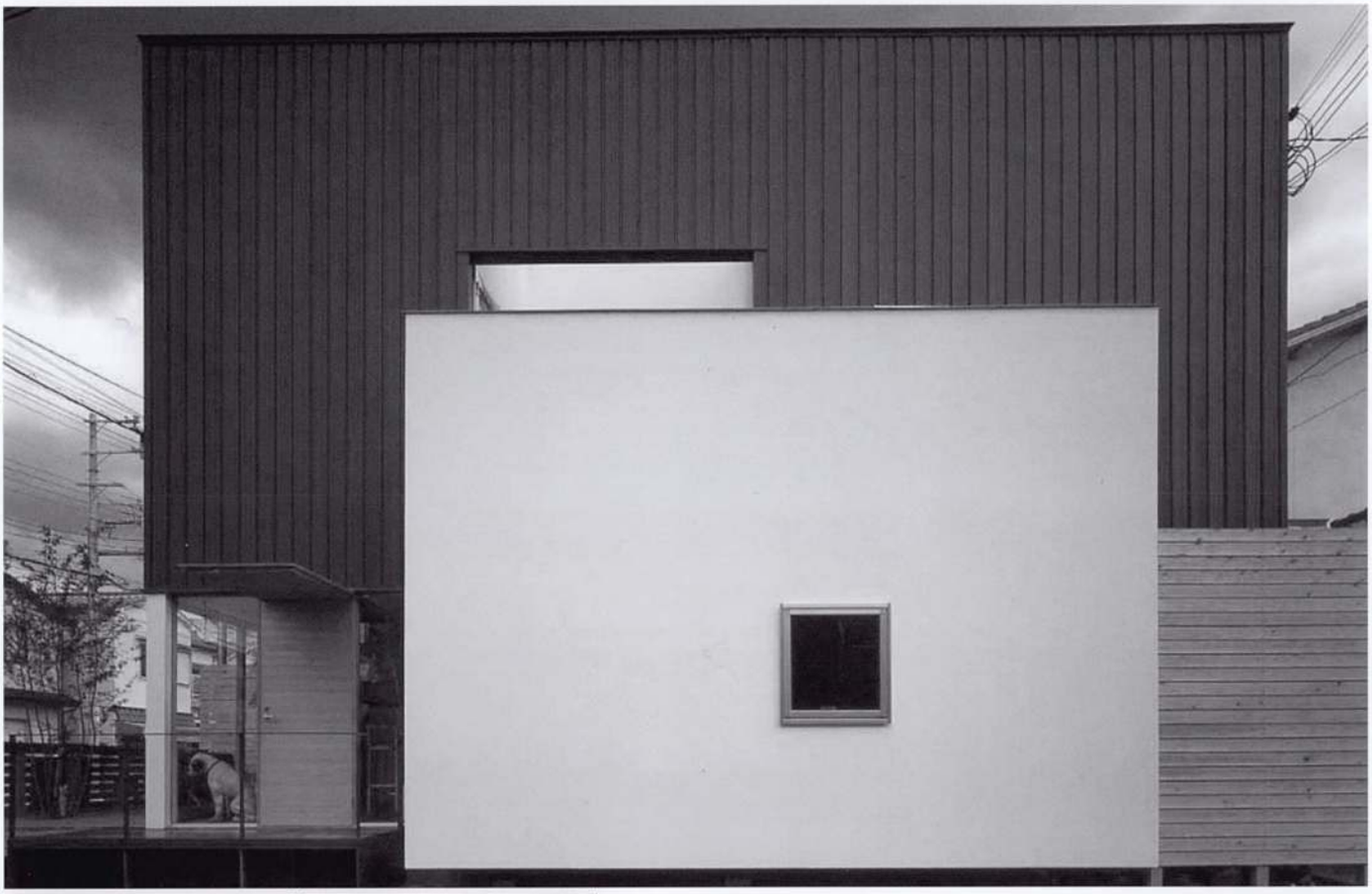
日本建築協会■会員作品特集

寄せられた写真や文章から、設計者の人や空間、時間に対する様々な「直向きさ」を感じます。複雑化する建築界にあって、私たちはその「直向きさ」に共感し、勇気づけられます。
会員各位の今後ますますの御活躍を期待しています。

企画編集　作品作風小委員会

新たなすまいと人生

岡﨑善久　岡﨑善久建築設計事務所









この建物は、八尾の安中町に４年前設計した「公園前の家」の近所である。暗くて風通しが悪く、母と子供２人が25年間生活をしてきたが、生活のための「すまい」ではなかったと推測する。
再生計画に当たって、生活と仕事場（喫茶店）は、光と風・自然と対峙しながら、心地よさを敏感に感じるシンプルな生活。また、街行く人を意識した小さい箱。街にやさしさを提案した。
木の玄関扉を開き階段を上がって２階に行くと、屋根のないデッキリビングが目に入る。この小さなデッキからやさしい日差しが差し込み、また折れ戸を開放するとさわやかな風が吹き込み、自然を感じることができる。
火打ち材、松丸太のけた等を残し、時間と空間を感じさせる新たなすまいの始まりを意識した建築である。
１階の階段の横には、浴室を兼ねた洗濯干し場に小さな窓。仕事場である喫茶店は、リビングとして使用することも出来る。オープンデッキにはシンボルツリーを設けて内外から眺め、街並みの風景をつくる。
小さな箱である「Re:安中の家」は、時間の経過と光の移ろいを感じながら生活する小さな家である。

（岡﨑善久）

■Re:安中の家

所在地　八尾市安中町2-1-66
施　工　建築工事プロデュース
敷地面積　85.00㎡
建築面積　56.69㎡
延床面積　99.35㎡
　喫茶部分45.56㎡
　住宅部分53.79㎡
　デッキ　6.62㎡
構造規模　W、2F
竣　工　2004年8月
撮　影　岩為

玄と翳の空間

早崎伸一+木本泰二郎+平尾和洋　VIDZ/ヴィズ建築設計事務所









京都市中心部の所謂「田の字地区」に建つ賃貸集合住宅である。嘗ては町家のコスモスであったこの地区も、今や経済至上主義の目論見のもと、こうした高層集合住宅に占有されつつある。

商業的機構と、賃貸業者のスペック説明戦略（白い壁と最新設備の品目数）の前で、設計者の無力さについては異論を待たない。但し、せめてもの抵抗として予算の範囲内であるが、「共有部分の佇まい」と「マテリアルに対する拘わり」だけをプロジェクトのテーマとした。また平面計画上の試みとして「1階住戸の外部をミニマルな坪庭の設え」とし、ヒメシャラの陰翳を際立たせた。白い壁として要請された部分以外は、むしろ玄と翳の空間としてまとめられている。

（早崎伸一＋木本泰二郎＋平尾和洋）

■姉小路の集合住宅

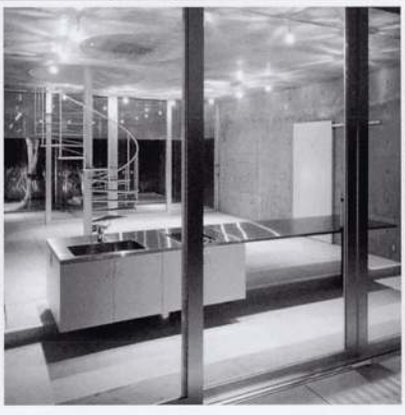
所 在 地　京都市中京区姉小路通小川東入ル
施　　工　かねわ工務店
敷地面積　412.78㎡
建築面積　272.98㎡
延床面積　1,729.05㎡
構造規模　RC、8F
竣　　工　2004年2月
写真撮影　平尾和洋

重力の消えた家

森村政悦　森村政悦建築設計事務所









関西を中心に活躍するグッズデザイナーのための住宅である。この地域は比較的古くから開発された住宅街。南側に宇治川の支流である堂の川の上流、対岸に急勾配の竹林と、静かな自然に恵まれた敷地であり、北側の専用通路からアプローチする。自然が迫るこの奥まった場所に、外に開放する間口６m奥行12.6mのコンクリート打ち放しの箱を挿入した。公的、個的空間を明確に分離し、１階のLDKと玄関ホールでは徹底して生活感を排除。１・２階ともに極めてシンプルな空間である。南北を吹抜けのテラスで囲むことで、川のせせらぎやそよ風、竹林から差し込む光を取り入れることが可能となり、一日の時間の経過と連動する。夕暮れ、室内の照明により重力を無視するかのように、コンクリートの箱が空中に浮き上がる。

（森村政悦）

■I－HOUSE

所在地　京都府宇治市
施　工　森建設
敷地面積　220.59㎡
建築面積　62.08㎡
延床面積　112.28㎡
構造規模　RC薄肉ラーメン構造2F
竣　工　2002年5月
撮　影　杉野　圭

浮遊する屋根

村重保則　村重保則現代建築設計事務所







山口県岩国市 JR駅近くの市街地に位置している。敷地前面は幹線道路に接しているが、他の三方は近隣の建物に囲まれている。3階のうち1階を眼科診療所、2・3階は将来研修施設や「眼の図書館」として利用する計画である。外部形態はアーチ上の2枚の屋根を大きく交差させることで変化を与えている。コンクリート壁とアーチ状屋根はガラスによって結ばれ、それによって空間・時間をつなぎ、内と外をつなぎ、建築と街並みをつなぐという手法を採用した。

1階は前医院の機能的なレイアウトをそのまま移行する形で採用している。屋外から上階へのアプローチとして開放的な階段を配置し、2階研修施設への出入りを容易にした。研修施設は2層で構成されている。外部にはコートを設けてプライバシーの確保と採光を期待する。居間・食堂部分は2層の吹抜けとし、エントランスホールは解放された光の道となって上層部（3階）のフリースペースホールと一体化し、くつろいだ空間を演出している。このフリースペースホールは、前述の「目の図書館」として一般に開放されるパブリックスペースとなることを念頭においている。ギャラリィから蔦に覆われたコートを眺めながら読書や鑑賞を楽しむ、そんな情景が思い浮かべられる。

（村重保則）

■ごちょう眼科

所 在 地　山口県岩国市
施　　工　松屋産業
建築面積　244.45㎡
延床面積　447.04㎡
構造規模　RC、3F
竣　　工　1999年5月
写真撮影　磯谷写真事務所

大樹で結ぶ空間

新居照和 & ヴァサンティ　新居建築研究所







敷地は工場が散在する地域にあり、近年では郊外型巨大ショッピングセンターが進出し、新建材で包まれた住宅があちこちにできている。土地固有の風情を失っていく典型的な日本の都市郊外開発地の環境にある。婦人衣料品販売事務所を新築し、単身者用アパートを併設することを依頼された。若者人口が増えつつあることで、アパートが乱立している。建設費を低く抑えざるを得ないとはいえ、時がたっても経年変化がより魅力となって入居希望者を引きつけていく環境を提示することが重要だと考えた。

異なる機能をもつ事務所棟とアパート棟を向かい合わせ、一つの緩いアーチ屋根を描くように結びつけ、中央に地場杉を張ったウッドデッキの中庭をつくった。その中心は建物ではなく、大きく成長していく４本の樹木がその空間の背骨となるように据えた。この場所は、穏やかな四季折々の光や心地よい風を生む場所であり、２つの棟の様々な住人、使用者の共有空間であり、新しい出会いの場として期待される。

（新居照和＆ヴァサンティ）

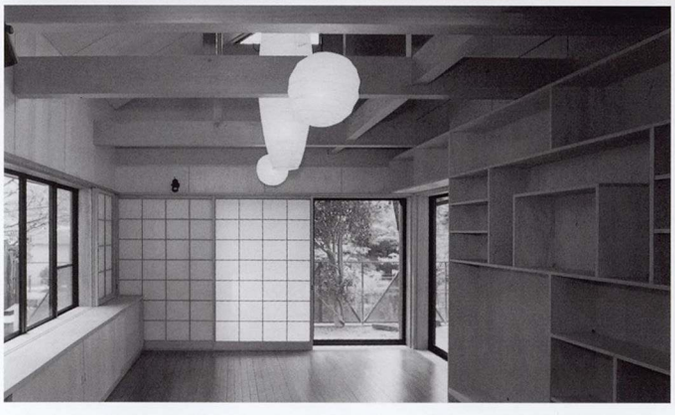
■田上コート

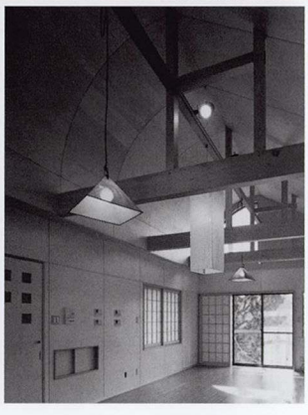
所 在 地　徳島県板野郡北島町
施　　工　誉建設
建築面積　214.70㎡
延床面積　361.00㎡
構造規模　W、2F
竣　　工　2004年４月
写真撮影　北田英治・新居照和

風景に参加する

上谷重男　U建築企画室







哲学の路、なんと響きのよい、ロマンを感じさせる呼び方か。しかし、この疎水添いの町並みも、緩やかな変化の波の中に揉まれている。それは良好な方向に流れているのか、否と答えるしかない。緑にとけこみやすい、ジュラク壁、木材とアルミの経年変化への期待を込めて設計を終えた。

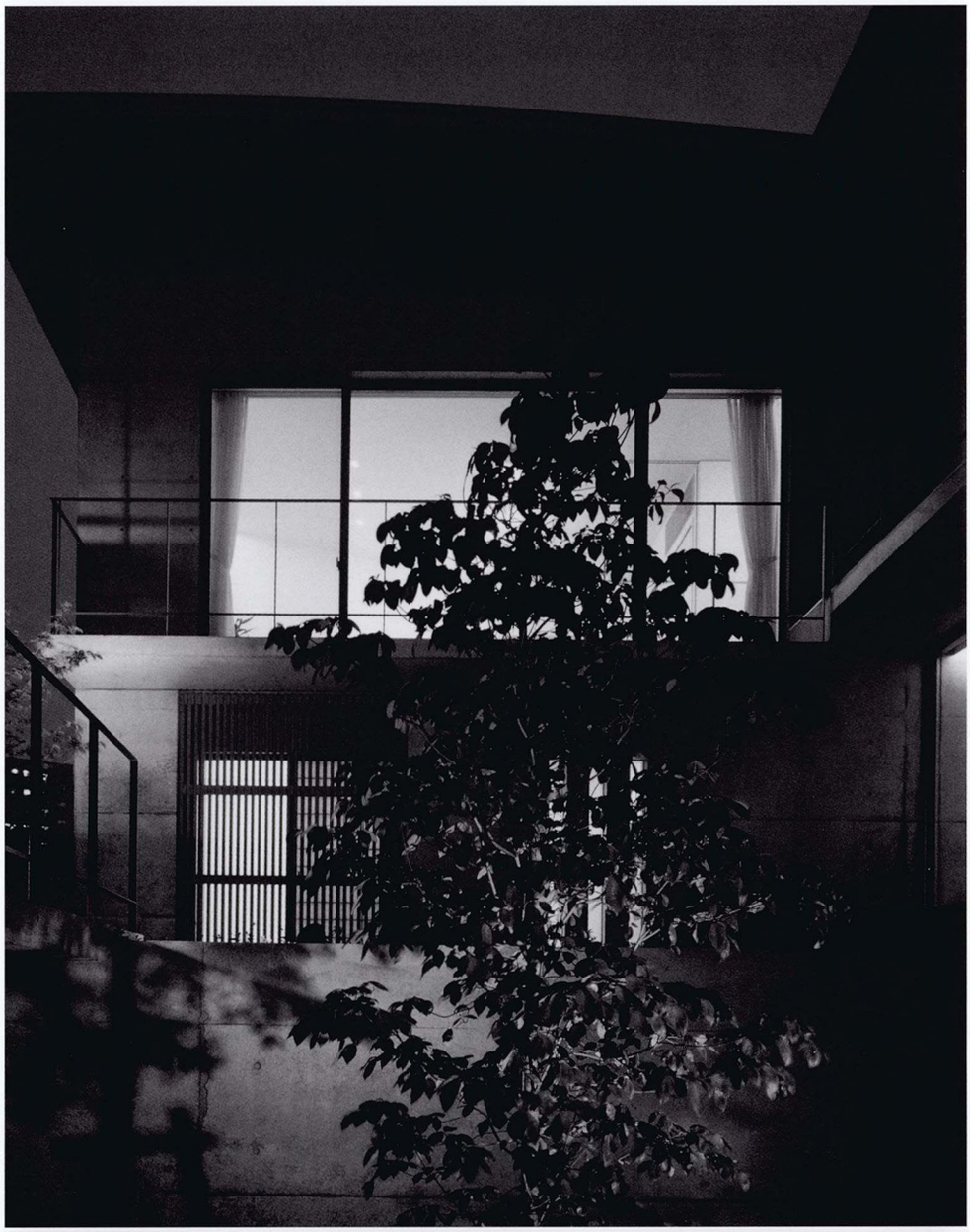
（上谷重男）

■哲学の路の家

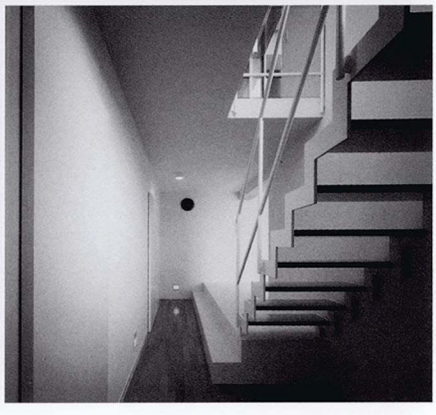
所 在 地　京都市左京区鹿ヶ谷
施　　工　根木工務店
敷地面積　250.00㎡
建築面積　109.00㎡
延床面積　162.00㎡
構造規模　W、2F
竣　　工　2002年９月

長い視線をつくり出す

塚口明洋　塚口明洋建築研究室







この住宅は千里ニュータウンの恵まれた郊外住宅地の一角にあります。日本の「邸宅デザイン」として、道路側に塀を設けず、ゲート、ブリッジで構成された前庭を設けることで、道路からのプライバシイを守りながらも、まちに表情をもつ住宅をデザインしました。Here & Thereという空間の関係性を外部空間、内部空間の構成テーマとして設計を進めました。

敷地は道路から２mほど高くなっているため、道路からは階段を上がりゲート上のブリッジを渡るという長いアプローチ構成としました。３度の方向転換のうえ、写真右隅の玄関ホールへと至り、玄関からはもう一度折り返して２階リビングルームへ階段を上がります。

L形プランを採用することで建築の中にいくつかの長い視線をつくり出すことを考えました

（塚口明洋＋永田麻由子）

■津雲台の家

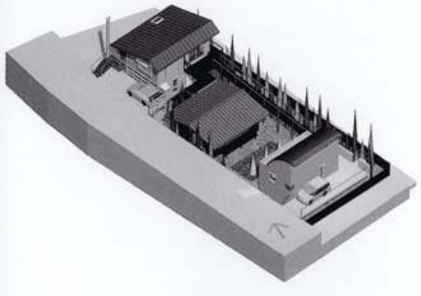
所 在 地　大阪府吹田市
施　　工　松本住建
敷地面積　267.90㎡
建築面積　107.15㎡
延床面積　188.80㎡
構造規模　RC、2F、B1F
竣　　工　2003年11月
撮　　影　河合止揚

先輩の普請

河南重雄　河南建築設計事務所







垂水の家は女性の為の住まいである。
数年前、25年間通じての設計の先輩が見舞う間もなく遠くに行ってしまった。その後、母と娘さん達の住まいづくりを担当させていただき今春に完成となった。
竣工の日、先輩にこんな完成報告をした。
“最小でも豊かに住みこなす”を目標に設計させていただきました。私自身としてはコンパクトにまとめ“普通だがちょっと違う住宅”になったと一人で自負しているのですが…。
あとは先輩の御批評を待つばかりです。一応、先輩の居場所は杉の大黒柱ですが必需品のT定規は近くに置いておきます。
さて先輩心残りの自身のアトリエ建設はまだ買い手のない南側残地に、3Dにて構想させていただきました。
これにて先輩の心残りも少しは解消されたと思いますので再び旅を御続け下さい。

（河南重雄）

■垂水の家

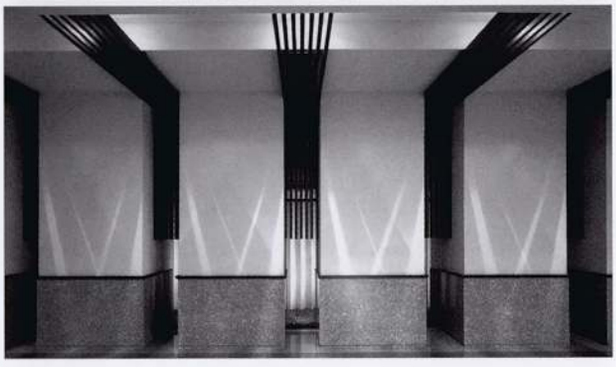
所 在 地　神戸市垂水区旭が丘
施　　工　ライフシステム
敷地面積　100.02㎡
建築面積　61.08㎡
延床面積　79.48㎡（住宅部分）
　　18.74㎡（駐車場架台）
構造規模　W、2F（駐車場架台S造）
竣　　工　2004年2月
撮影・3D作成　河南重雄

内包された半外部空間の演出

平井浩之　大成建設 関西支店設計部







東側は駅からつながる商店街、南は幹線道路に面して建つ集合住宅である。

集合住宅として容積を最大限確保するため、敷地いっぱいに計画することとなったが、我が家に辿り着くまでには、周囲の喧噪から離れる空間が必要である。それと同時に、建物のグレードを高めるために―引き・奥行き―を表現したかった。

1階エントランスの両サイドには「内包された半外部空間」を設置し、外部から内部へと意識の変化を感じとれるよう演出した。

1．外部植栽とつながる円形の壁に囲まれた内庭（東側）
2．エレベータへのアプローチ横のスリット状の開口と、その外側の化粧壁との間に生まれた内庭（西側）

この「無用の用」の空間が広がりを生み出し、朝日・夕日の織り成す影が変化を与えることで心地よい空間となっている。　（平井浩之）

■箕面の集合住宅

所 在 地	箕面市箕面6丁目
設計・施工	大成建設
敷地面積	2,861.63㎡
建築面積	1,336.66㎡
延床面積	7,326.66㎡
構造規模	SRC、10F
竣　　工	2004年4月
撮　　影	伸和

回遊性のある住まい

岸　一　アトリエジグソー





■設計コンセプト
二元対比のデザイン。二元対比をテーマに分譲住宅として設計したこの作品は、次の市場を見すえた新しいデザインと言える。

■平面計画
生活動線に「くつろぎ」「機能」「防犯・避難」の3つの回遊性を持たせている。

■外観デザイン
曲面（自然）と直線（人工）が融合するデザイン。曲面は自然素材のねん土を原材料として開発した陶華タイルでナチュラル感を。直線は人工素材である木質サイディングと吹付でシャープ感を出している。

■インテリアデザイン
内装は珪藻土・木・和紙などの天然素材とアルミ、ガラスブロック、メラミン化粧合板などの人工的で透明感のある素材が融合する、レトロでありモダンでもあるインテリアとしている。

（岸　一）

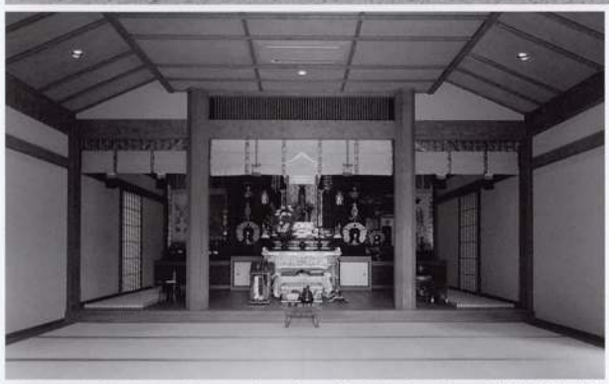
■郡山の家

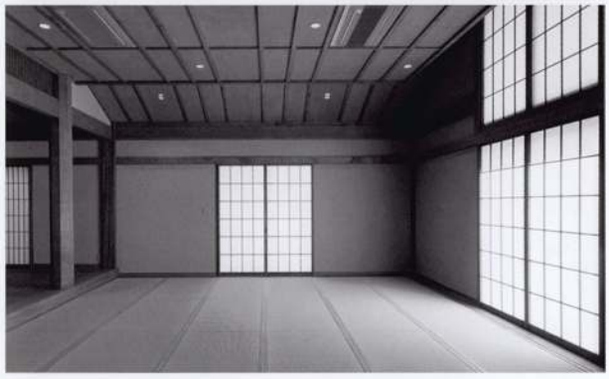
所在地	福島県郡山市緑ヶ丘東4-15-1
施工	陰山建設
敷地面積	328.78㎡
建築面積	85.09㎡
延床面積	146.20㎡
構造規模	W、2F
竣工	2004年7月
写真撮影	陰山建設

柔らかな光が差す浄域

長瀬博一　長瀬建築研究所







京都市南部、桂川の堤防近くに立地する檀家約30軒の小さな御堂である。創建来400年～500年の歴史の中、室戸台風による倒壊、再建された本堂も老朽化し雨漏りもひどく建替えとなった。浄土真宗に適わしく東面して建つ。一般寺院建築の半額程度で建築可能かが最大の課題であった。又、御参りされる方々は高齢者が多い為、緩勾配の参道で対応。外陣24帖、内陣14帖大、控間６帖の簡潔な小堂である。北側にプレファブ造庫裡が近接する中、敷地一杯に回廊を廻し、軒を出す。起り付の燻し瓦葺切妻屋根で、内陣正面壁は木板黒塗とし荘厳飾りが引立つよう企ると共に、御宮殿上部から柔らかな頂光を導き入れた。前面道路沿いの塀と生垣で浄域を形成している。

（長瀬博一）

■西光寺

所 在 地　京都市伏見区横大路草津町
施　　工　赤井工務店
建築面積　109.42㎡
延床面積　108.28㎡
構造規模　W
竣　　工　2004年8月

平成の雅趣を創る

村上幸三郎　村上デザイン事務所







「平八茶屋」は天文時代の創業で、若狭街道を往来する旅人などに名物＜麦飯とろろ汁＞を供してきた老舗料亭である。明治時代には正岡子規や夏目漱石などにこよなく愛され、「虞美人草」「門」などにも登場する。寛政期建の本屋や「騎牛門」などが茶屋の古様を示し、風雅な約800坪の回遊式庭園は来訪客にやすらぎの空間を提供している。

煌々とライトアップする照明ではない。照明によって、茶屋のもつ歴史的な雰囲気を強調するよう努めた。滝山から庭を回する清流、鬱蒼と繁る楓、桜などの植栽、諸処に配された蹲いなどに、愛でる光景を創るとともに、足元の明かりを特に留意し、静かに庭内を徘徊、鑑賞できるようにした計画である。

照明演出には、主に電球形蛍光ランプやハロゲンビームランプのスポットライトを使い、省エネルギーに十分配慮している。

（村上はるみ）

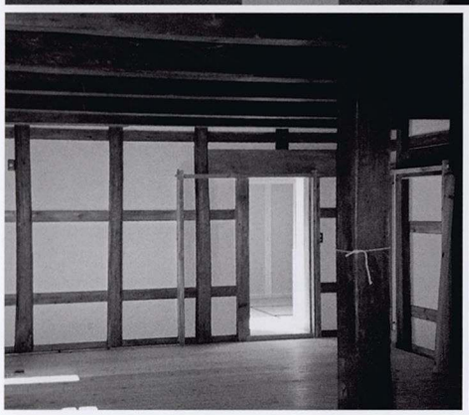
■山ばな　平八茶屋の屋外照明

所在地	京都市左京区山端川岸町8-1
施工	鳳電気土木
企画	平八茶屋
照明デザイン	村上デザイン事務所
竣工	2003年11月
撮影	村上幸三郎

明治の蔵がよみがえる

元廣清志　有限会社元廣建築設計事務所







尾道で老舗の御茶屋の明治に建てられた蔵が、平成13年春の安芸灘地震で屋根や壁に被害を受けた。当地、水尾町の町並みになじんでいた蔵を壊してしまうのは忍びない、また、新茶を熟成させるというお茶屋としての重要な機能を果たしていた蔵と同等の機能が必要、等々検討した結果、蔵を再生することで計画が始まった。今使われている材料をできるだけ再利用して建替え。また、通りに対して横向きの配置を、通りに面して建替えるため、一度蔵を解体し、再び組上げるという工事となった。完成した漆喰塗りの蔵は、商家で栄えた尾道の往時の姿を彷彿させる堂々たる姿でよみがえった。

（元廣清志）

■今川茶房土蔵改修工事

所 在 地　広島県尾道市久保1-6-8
施　　工　葉名組
敷地面積　164.49㎡
建築面積　 69.62㎡
延床面積　128.50㎡
構造規模　木造2階建
竣　　工　2002年10月
撮　　影　元廣清志、米田雅治

お母さんの視点で考えたクリニック

中尾勝悦　中尾綜合建築設計事務所







クライアントや社会の抽象的なイメージを具現化するため、積極的に要望を聴き出し、建築にまとめるよう心がけています。
このクリニックは、小児循環器学を専攻した「小児科医」が初めて開院する、専門性を有する地域医療施設です。
成長を続ける子供や看護に疲れたお母さんに配慮した空間演出と、ここで働く人達が疲れない動線計画を心がけて設計しています。
英国医学留学時の心象風景を取り入れた外観。車寄せを兼ねた長い庇。バギーのまま診察室まで行けるバリアフリーアクセス。吹抜けた明るく開放的な待合。トップライトを設けた明るい診察室。車椅子でも利用できる広いトイレ。子供が一人で手洗いできる水洗高さ。充実した医療設備に対応でき得るフリーアクセスフロアー etc.
多くの検討案を提示するなか、クライアントの思いが素直に伝わり、設計から竣工までスムーズに進みました。開院以来、医師の評判に伴い建物も好評を得ており、嬉しい作品となりました。

（中尾勝悦）

■松下こどもクリニック

所 在 地　大阪府門真市末広町
施　　工　桝本工務店
敷地面積　149.84㎡
建築面積　218.42㎡
延床面積　218.42㎡
構造規模　S、2F
竣　　工　2003年8月
撮　　影　大川　彪（APA会員）

「建築と社会」誌

特集一覧●1982~2003

大正6年3月に誕生した日本建築協会（当時・関西建築協会）の、機関誌は大正6年9月に「関西建築協会誌」と題して創刊された。大正8年に「日本建築協会雑誌」、さらに1年後には「建築と社会」と改題し、今日に至っている。

取り上げてきた特集テーマは下記のとおりで、バックナンバー購入希望は、日本建築協会事務局（TEL 06-6946-6981、FAX 06-6946-6984）まで。販売価格は1200円（送料・消費税含）。

号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1982 vol.63	●新たな商業空間の展開＊	●省エネルギーと開口部＊	●医療施設―地域医療と設備計画＊	●近畿の地盤と地質＊	●都市景観―まちなみ美観への誘い＊	●大阪市庁舎（第1期）＊	●ホール建築と音＊	●大スパン構造＊	●昭和設計作品集＊	●絵本にみるすまいとまちづくり ●オー・エム・ホテル日航ビル	●第29回青年技術者 ●地方の庁舎建築＊	●風土・空気と人間＊
1983 vol.64	●関西の建築文化を考える	●マイコンの建築への利用	●多様化する運動施設＊	●建築と品質管理	●計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	●大阪駅とターミナルビル	●維持管理と設備更新	●東海の将来と文化を考える	●オフィス・インテリアの変革	●プレストレスト・鉄筋・コンクリート構造	●第30回青年技術者 ●大阪城国際文化スポーツホール＊	●集合住宅と生活音
1984 vol.65	●21世紀への関西―魅力あるまちづくりを問う	●関西の超高層ビル＊	●ビルのリフレッシュ―内外装補修技術の現状と発展―＊	●建設産業とロボット開発＊	●住環境と法制度	●まちの活性化と商業空間 ●京都駅南口再開発ビル＊	●消防設備のポイント	●みどりとそれをとりまく人々＊	●高齢化社会と生活空間	●床の構工法	●第31回青年技術者 ●ディテールの思想	●光応用システムと建築
1985 vol.66	●大阪湾物語＊	●東海の現在と近未来	●自由様式への道―建築家安井武雄 ●建築物の基礎を考える	●情報化をめぐる建築・都市事情	●ホール―それが生みだす文化―	●建物の表情―最近の外壁材料	●大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出 ●神戸研究学園都市	●都市と健康・スポーツ	●接合―人体と建築にみる― ●日建設計作品＊	●村野藤吾の一断章 ●伊勢湾をめぐる東海	●第32回青年技術者
1986 vol.67	●これからの住空間―都市型集合住宅にみる	●屋根―そのデザインと素材	●現代デザイン―ポストモダニズム10年 ●これからの防水工法	●インテリジェントビルの建築・設備計画	●自治体営繕と公共建築	●建築防災と法 ●大阪市庁舎（第2期）	●21世紀の住宅と設備	●開発―その創造的仕掛けの鍵をもとめて― ●ツイン21	●CAD―その応用と展開	●オフィス空間の構成	●第33回青年技術者	●インテリア・イクステンションとリニューアル
1987 vol.68	●入浴物語	●腐食	●創立70周年記念号	●躍動する東海へ	●貯蔵・保管施設 ●大阪府立体育会館	●室内の仕上床	●駅	●行政建築家の可能性	●シティホテルの設備	●宝塚の街づくり＊	●建物と町並みの接点 ●昭和設計作品集	●第34回青年技術者
1988 vol.69	●ホテル物語	●軟弱地盤と基礎 ●文化と伝統―東海からの報告	●設備におけるLCCとリフレッシュ ●東畑建築事務所作品集	●建物の外装リフレッシュ＊	●都心居住	●中国地方の展望とひろしまのまちなみ	●21世紀への照明＊	●制振＊	●超高層住宅を考える	●集合住宅のリフレッシュ＊ ●大阪府営善	●第35回青年技術者 ●800号記念＊	●讀賣テレビ
1989 vol.70	●夢をのせる輸送設備	●リゾート事情 ●竹中工務店創立90周年記念	●色の復権 ●東海の新建築と伝統技術＊	●省力化のための材料・工法	●まちづくりと法	●博覧会とまちづくり	●都市環境創造と設備I	●建築とアート	●構造の省力化 ●鹿島建設大阪支店建築設計部作品集	●都市環境創造と設備II ●ユーザー参加のハウジング	●第36回青年技術者	●最近の博覧会パビリオン
1990 vol.71	●商品化住宅のデザイン＊	●ニュータウン・ルネサンス	●東海の都市景観 ●佐賀市文化会館＊	●スケール感	●プレハブ住宅技術の現在と未来	●国際花と緑の博覧会	●建築家のための設備知識―中規模オフィスビルによるケーススタディー	●高強度化―設計の多様化をめざして―＊	●やわらかな住宅管理・ユーザーの役割	●都市のナイス・プレイス ●兵庫県営繕の歩み	●第37回青年技術者 ●和歌山県の展望と景観＊	●高級感―建物の顔：感性の時代を迎えての外装材
1991 vol.72	●新しい都市空間づくり―I― ●オフィス・プレジャー ●新しい都市空間づくり―II― ●建築の風景	●東海支部復活30周年記念	●大阪東京海上ビルディング	●今、京都 ●建築家のための設備知識―複合商業ビルによるケーススタディー	●建築と土木 ●毎日放送本社ビル ●近畿地方建設局営繕部	●一般号＊	●建築をめぐるトラブルとその解決 ●建設現場のイメージアップ作戦	●空間のアイデンティティ ●きんでん写真集 ●大建設計40周年	●自治体住宅政策への提言 ●大林組創業100年記念	●建築と土木―構造技術の世界― ●第38回青年技術者	●スリムでタフなコンクリート ●21世紀の住まいを考えるシンポジウム
1992 vol.73	●夢物語―人がかわる、まちがかわる― ●こだわりのインテリア ●近畿の郵政建築15年の歩み	●建築とデザイン―東海支部―＊	●建築家のための設備知識―集合高層住宅の設備システム―	●地球環境時代の建築	●街創り、住まい創り―住宅・都市整備公団関西支社10周年―	●木構造を使ってみませんか―集成材による構造―＊	●接着―建築分野への限りなき可能性	●中国地方の町並みと建築家の「語り、夢、作品」＊	●屋台―仮設の魅力に学ぶ― ●ハウジングのメインストリームを探る	●いま建築教育に何が期待されているか	●京のかたちと色
1993 vol.74	●第39回青年技術者 ●東畑建築事務所創立60周年記念作品集	●大阪府営繕	●東海の美術館・博物館	●市民劇場の舞台設備	●環境―限りある自然と建築とのかかわり	●都市のスカイライン	●映画の中のインテリア ●けいはんなプラザ・住友ホール	●建築の再生―構造技術の役割― ●大阪市営繕	●国際的パートナーシップの可能性	●福祉のまちづくり	●都市型住宅再考	●第40回青年技術者 ●環境―人にやさしい空間創造をめざして
1994 vol.75	●コピー文化の新時代 ●広島の街創りアジア競技大会	●九州のインスタレーションと貌	●伊勢・神宮式年遷宮と神宮界隈＊	●建築のエネルギーシステム	●明日に向かって―会員作品＊	●いま、医療施設は	●住空間における居どころへの視点	●まちなかの看板 ●竹中工務店の集合住宅	●水と建築 ●日本建築総合試験所	●建築設備のCGシミュレーション ●村野、森建築事務所	●構造美―建築の中の美 ●集合住宅団地リニューアル	●第41回青年技術者 ●関西国際空港
1995 vol.76	●光がつくる風合の世界＊	●音―騒音から操音/創音へ	●飛騨・美濃―まちの活性化と地方文化＊	●トイレから見た都市文化	●トイレ空間	●接合 ●コスモタワー	●ユニバーサルデザインとは	●私の空間作法―会員作品	●新しい「都市・建築」の視点＊	●建築構造と社会の接点 ●日建設計＊	●ライフラインと建築設備＊	●第42回青年技術者 ●滋賀県建築課
1996 vol.77	●阪神大震災から学ぶ＊	●大阪府住宅供給公社創立30周年記念＊	●遠江―その地方振興と文化＊	●立体駐車場設備 ●大建設計	●災害！非常時に生きる法体系 ●OAPタワーズ	●いま、プールがおもしろい	●住まいの未来像	●マルチメディアがつくる世界	●キーコンセプトの新時代	●最新の大規模スポーツ競技施設の設備	●私の空間作法'96 ●九州の元気 ●りんくうの3作品	●第43回青年技術者 ●近畿地建営繕部
1997 vol.78	●建築のロングライフ化をめざして	●鉄ものがたり＊	●東海支部会員作品 ●金沢・能登―風土・文化とまちなみ・建築＊	●創立80周年記念／建築と私と社会―80人の眼―＊	●木造建築物の伝統技術とその将来	●住む空間の復興―法・制度の運用と新たな展開へ― ●住都公団関西支社	●素材の不思議 ●大阪ドーム	●新エネルギー ●住宅・都市整備公団改革への提言	●クロスワード都市OSAKA＊	●モザイク都市の住むかたち ●昭和設計40周年	●私の空間作法―会員作品―	●第44回青年技術者 ●京都駅ビル
1998 vol.79	●新しいまちづくりの予感 ●東畑建築事務所創立65周年	●Concrete ●九州とわたし、そして建築	●東海支部会員作品 ●信州―諏訪とその周辺―	●街並みの演出―最近の外構材料	●生活環境の安全・安心	●地球環境保全と建築	●心と体を元気にするインテリア	●建築設備―ビルメンテナンスの立場から	●建築への証言'98―21世紀に向けて	●ゆれをとめる―たえる技術からかわす技術へ	●私の空間作法 ●2001年の医療施設	●第45回青年技術者 ●駅とともに歩んだJR西日本の12年
1999 vol.80	●“らしさ”のデザイン ●建築を綾どる小枠なモノの仕掛人	●大阪市都市整備局	●東海支部会員作品'99 ●北信濃―街並み修景と地域文化の再構築	●都市のパブリック	●関西建築界の流れと東畑謙三の足跡をたどる	●大阪城天守閣平成の大改修	●改正建築基準法―まちづくり・すまいづくりへの展開―	●私の日でみた環境問題	●アーバンインテリアア―都市空間としてのインテリア	●木とともに	●私の空間作法	●第46回青年技術者
2000 vol.81	●21世紀のデザインの動向を見る ●安井建築設計事務所創業75周年	●中国支部―しまなみ海道と中国地方のまちづくり―	●東海支部会員作品2000 ●越中・富山―地域文化の振興と新たな施設づくりの流れ	●こころを癒す環境デザイン	●測る―測定方法と測定結果が意味するもの―	●スケルトン&インフィル	●改正建築基準法―パートII―	●100年後へのメッセージ ●日建設計創業100周年	●来世紀に引き継ぐ―わざ、もの、こころ―	●時間	●私の空間作法―会員作品― ●21世紀の高齢者の居住環境	●第47回青年技術者
2001 vol.82	●エヌ・ティ・ティファシリティーズ	●21世紀の建築設計教育	●東海支部会員作品 ●岐阜・大垣	●ＩＴ社会におけるきずな	●自然素材をめぐる「もの・わざ・ひと」	●成熟社会をささえるまちづくり	●現代の日本の空間・文化を探る	●環境―近未来に向けて今できること― ●大建設計―作品特集1996~2001―	●建築の力都市の力	●緊張 ●都市基盤整備公団関西支社	●私の空間作法―会員作品―	●第48回青年技術者 ●NHK大阪放送会館・大阪歴史博物館＊
2002 vol.83	●国土交通省近畿地方整備局営繕部＊	●再生・リサイクル	●東海支部会員作品 ●愛知・名古屋	●生活環境の安全・安心―パート2―	●塗装のいろいろ	●都市再生に向けた建築基準法集団規定のあり方	●いま、インテリアデザインは ●淡町リバープレイス	●建築をささえるセンター	●建築とボランティア	●時を超えて~サステナブルエンジニアリングの現在~	●私の空間作法―会員作品―	●第49回青年技術者 ●大阪市中央公会堂
2003 vol.84	●東畑建築事務所創立70周年	●九州の地域づくり・まちづくり	●東海支部会員作品2003 ●愛知・名古屋―この地の文化・芸術と建築・街づくりを考える―	●サスティナビリティ~次世代に引き継ぐ都市・建築・暮らしのデザイン~	●建築と五感	●都市計画法及び建築基準法等の改正	●コンバージョン―インテリアから発信するまちなみ―	●介護と建築・設備	●建築とノスタルジー~建築の主観的価値について~	●力と楽しくつき合う方法	●私の空間作法―会員作品―	●第50回青年技術者＋青年技術者顕彰50年

＊は欠号

法改正シリーズ・3

改正建築基準法の概要―単体規定関係―

中川啓三
大阪府建築都市部建築指導室建築企画課企画推進グループ総括主査

平成16年6月、建築基準法（以下、特記のない限りこの法律を指す）は、更なる建築物の安全性及び市街地の防災機能の確保等を図ることを目的に改正された。今月は、単体規定関係の改正の概要を、特に「定期調（検）査報告制度」にスポットをあてて紹介する。

既存不適格建築物に対する勧告・是正命令制度（第10条第1、2項）

【改正の概要】 劣化が進み放置すれば著しく保安上危険又は衛生上有害となるおそれのある一定の用途・規模の既存不適格建築物について、特定行政庁はその所有者等に対して必要な措置をとることを勧告し、従わない場合には是正命令ができることとなった。

既存不適格建築物に関する規制の合理化（第86条の7～8）

【改正の概要】 増改築する際に、一つの建築物であっても別の建築物とみなせる独立部分は法の一部の適用を受けないこととなった。また、2つ以上の工事にわけて段階的に改修を行う場合、全体の計画が一定の基準に適合すれば、最後の工事の完了時に法律に適合させればよいこととなった。

罰則の強化（第98条～105条）

【改正の概要】 多数の者が利用する建築物で、特に重大な違反の是正命令に従わない法人に対して1億円以下の罰金を課すなど、違反建築物に対する罰則の引き上げと罰則規定の整備が行われた。

定期調（検）査報告制度の充実強化（第12条第1～6項）

定期調（検）査報告制度については、定期報告のなされない建築物への立ち入り検査など、制度の大幅な充実強化が図られている。

【制度の経緯】 定期調（検）査報告は、昭和34年の法改正時に盛り込まれたが、この時は法第6条第1項第一号の特殊建築物で特定行政庁が指定した建築物が対象で、所有者又は管理者（以下、所有者等）自らが調査し、又は必要に応じて1級・2級建築士に調査させて所有者等が特定行政庁に報告することとされた。また、昇降機及び建築設備で特定行政庁が指定したものの所有者等は、定期に建築主事等の検査を受けなければならなかった。

昭和45年の法改正では、定期調査報告対象建築物の調査は1級・2級建築士又は建設大臣が定めた資格を有する者によることを義務付けられるとともに、昇降機及び建築設備等についても1・2級建築士又は建設大臣が定めた資格を有する者によることとなった。

昭和58年法改正では、定期調査報告対象建築物に事務所等が対象建築物として追加された。

平成15年の法施行規則の改正では定期調（検）査報告事項が様式化され、調（検）査の結果に「法不適合の指摘あり（既存不適格を含む）」「要注意の指摘あり」「指摘なし」を明記することとなった。

これを受けて、大阪府内の特定行政庁及び指定確認検査機関で構成する大阪府内建築行政連絡協議会（以下、大連協）では、大阪府建築基準法施行規則の改正を行った。大阪府内では昭和49年から定期調（検）査報告の統一様式を使用してきたが、国の様式とも整合を図りながら新たに府内統一様式を作成し、平成16年4月1日から使用している。大阪府内で定期調（検）査報告率が向上したのは昭和49年以降で、これには定期調（検）査報告を受ける体制が特定行政庁に出来たこと、所有者等に定期調（検）査報告制度が認知されたことなどが考えられる。

【改正の概要】 今回の法改正では、建築主事等は、定期報告がなされない場合など法違反の疑いがある場合には、建築物等へ立ち入り検査ができることとなった。また、所有者等から受け取る定期報告内容に疑義がある場合には、実際に調査を行った1級建築士等に直接、詳細な報告を求めることができることとなるなど、制度の充実強化が図られている。さらに、国、都道府県又は建築主事を置く市町村の建築物の管理者である国等の機関の長等は、建築物等について1級建築士等に、損傷、腐食その他の劣化の状況の点検をさせなければならないこととなった。

【今後の課題等】 平成15年の法施行規則改正で、定期調（検）査報告に「法不適合の指摘あり（既存不適格を含む）」「要注意の指摘あり」「指摘なし」を明記することとされた。「法不適合の指摘あり」というのは現行法に抵触する部分があることを指しており、早急に是正することが望ましい場合が多い。従前の定期調（検）査報告では、現行法に適合していなくても既存不適格（法改正前は適法な状態）の場合は所有者等に注意喚起を行う程度であったが、今回の法改正の趣旨を踏まえると、速やかな是正が望ましい場合も考えられる。また「要注意の指摘あり」は現行法に抵触はしていないものの、このまま放置すれば法に抵触するおそれがあるものや、維持管理上の重要な指摘が含まれており、これらについても何らかの対処が必要と考える。これらの取り扱いをどうするのか、現在、大連協の場で検討を進めているところである。

また、平成10年の法改正で、建築確認及び完了検査を民間の指定確認検査機関でも行えるようになったが、これに伴い特定行政庁で定期調（検）査報告の対象建築物を把握することが難しくなってきている。このため、大阪府内の特定行政庁では独自に、指定確認検査機関が確認検査を行った建築物のうち、定期調（検）査報告の対象となる建築物等を把握する方法を検討しているところである。

定期調（検）査報告対象物件を正確に把握し「法不適合の指摘あり」に該当する場合は適正な指導を行う必要があるため、特定行政庁として、より一層努力していきたい。（なかがわ けいぞう）

大阪府内の特定行政庁への定期調（検）査報告率

年度ごとに定期調査報告件数（建築物）が著しく変動しているのは、用途によって報告年度が変わるため。

	平成11年度			平成12年度			平成13年度			平成14年度			平成15年度		
	建築	設備	昇降機	建築	設備	昇降機	建築	設備	昇降機	建築	設備	昇降機	建築	設備	昇降機
報告対象件数	3,975	4,899	53,588	23,251	5,056	55,372	4,355	5,170	59,665	2,717	5,125	61,910	20,732	5,252	64,325
報告件数	2,866	3,628	53,588	14,679	3,719	55,372	3,389	3,827	58,243	1,961	3,866	59,859	13,525	3,878	62,949
報告率（%）	72	74	100	63	74	100	78	74	98	72	75	97	65	74	98
全国の報告率（%）	55	46	93	51	47	93	54	48	93	57	51	94	-	-	-

神戸質屋会館の構造設計
鉄骨造ケージ構造への取り組み

白髪誠一
㈱北條建築構造研究所

神戸質屋会館は、神戸質屋組合の施設であり、1995年の阪神・淡路大震災で損傷を受けていた。また、新時代へ向けての再生と活性化のため、新会館を建設することになった。

用途は、組合運営に必要な会議室および事務スペースと組合員の交流および競り会場として使用される大会議室からなる。(**写真1**)



●建築概要
所在地　神戸市中央区
設　計　建築：木村博昭／Ks Architects
　　構造：北條建築構造研究所
施　工　フナビキ工務店
建築面積　144.48㎡
延床面積　419.26㎡
階　数　地上3階
構　造　鉄骨造　一部、鉄筋コンクリート造
竣　工　2004年3月

写真1　建物外観

構造計画

本建物の構造計画において、3階の大会議室は9.35m×14.4 mのワンルームの無柱空間とすること、2～3階は前面道路側に約3.6 mのオーバーハングとすること（**図1**）、建物の二面の外壁をガラスブロックとし、空間の透明性を得るために各部材を可能な限り細くすること（**写真2**）とした。そして、旧会館が阪神・淡路大震災によって損傷したことからも、高い耐震性が要求された。

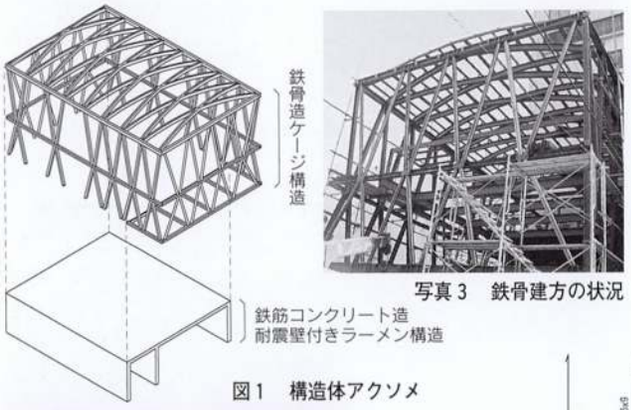


図1　構造体アクソメ

写真3　鉄骨建方の状況

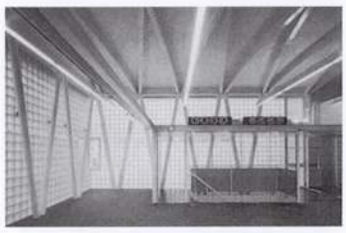


写真2
大会議室内観

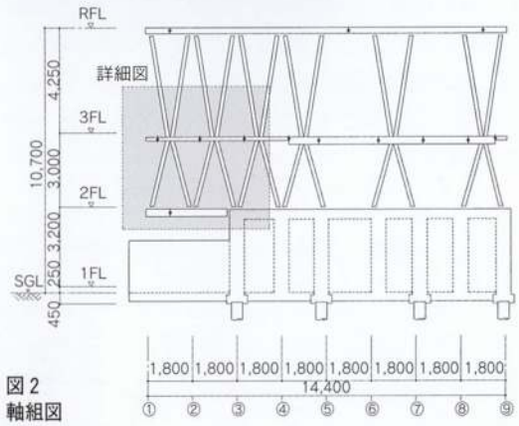


図2
軸組図

構造設計

オーバーハングとなる架構そして細い部材を用いて高い耐震性能の確保といった問題を解決するために、1階には鉄筋コンクリート造の耐震壁付きラーメン架構を採用し、2～3階には建物の外殻をカゴ状にする鉄骨造ケージ構造（Cage Structure）を採用した（図1）。ケージ構造はラーメン構造に比べて、細い部材で高い剛性と耐力を確保することができる。その反面、部材の座屈により建物の耐力が決定されるため靭性に劣ること、部材の接合部が複雑になるという特徴がある。このために、必然的に強度指向型の構造設計となる。

主要な柱および梁には、接合部の溶接やボルト継目に特別な加工が必要ないようにH形鋼はH-150×150×7×10、鋼管はϕ-139.8×5を最も細い部材として採用した。架構はX型の柱を工場で製作し、現場継手は2階柱脚、3階柱頭および3階梁に設けた（**図2**、**3**および**写真3**）。

構造性能と意匠性の一体化を目論む

本建物に要求される諸条件を満足するために、鉄骨造ケージ構造を採用した。その結果、1次設計時の変形は最大で約1/2400radであり、十分な剛性が確保されている。また、部材の応力度が短期許容圧縮応力度に達するのは1次設計時の地震力の約7倍の水平力が作用したときであり、保有水平耐力は必要保有水平耐力の約1.5倍を確保することができた。

3階の大会議室は、鉄骨部材が塗装だけで仕上げられている。これによって、構造性能と意匠性の一体を計った空間を構成することができたと感じられる。

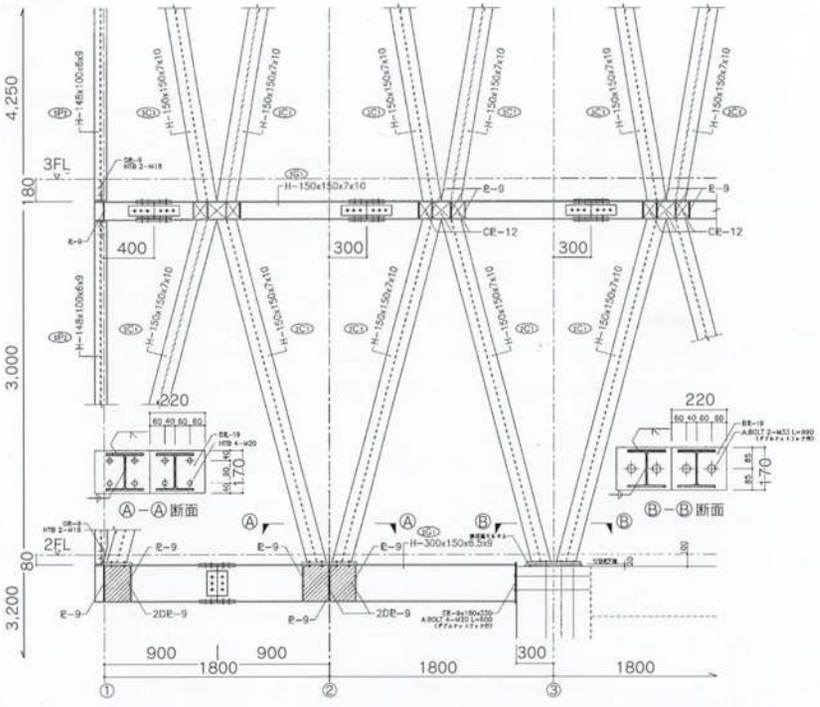


図3　詳細図

（しらが　せいいち）

「創る人・創るモノ・創る街」

■Part 2 〈増幅する街のデザイン〉
日時　2004年11月19日（金）13：00〜16：50
講師　①「店づくりから増幅する街づくり」
間宮吉彦―空間デザイナー。インフィクス代表取締役。複合商業施設のインテリアから建築まで手掛ける。
②「電波から増幅するアートと街」
谷口純弘―FM802プロデューサー。南堀江「digmeout CAFE」キュレーターとして、街と人とアートをつなぐ仕事をしている。
③「生活から増幅するゆらぎのデザイン」
藤脇慎吾―グラフィックデザイナー。FUJIWAKI DESIGN代表取締役。1999年、益永みつえ、梅林克とF.O.B HO MESを設立。
④「増幅・進化する有馬温泉」
金井啓修―老舗旅館「御所坊」15代目。「住む人が活き活きと暮らせる観光地」を信条とする。

■Part 3 〈生活シーンを創るデザイン〉
日時　2004年12月17日（金）13：00〜16：50
講師　①「和紙に始まる空間」
堀木エリ子―堀木エリ子＆アソシエイツ代表取締役。オリジナル和紙の制作、和紙インテリアアートの企画・制作から施工までを手掛ける。
②「パラモダン」
遠藤秀平―遠藤秀平建築研究所を設立。作品にBUBBLETECTURE、ROOFTECTUREなど。
③「モノに始まる空間」
高尾茂行―デプロ・インターナショナル・アソシエイツ代表取締役。カーデザイン・エレクトロニクス・スポーツ・インテリア・メディカルの商品企画戦略から製品デザインまで活躍中。

申し込みは、大阪デザイン振興プラザ事務局（TEL 06-6615-5510、FAX 06-6615-5173）へFAXで。
会場はATCビルITM棟9階セミナールーム（大阪・南港）。定員は各日150名。参加費は1日券一般4,000円／学生2,000円。当日受付にて徴収。

「再生・リフォームにかける」

まちづくり、民家、ホテルと、再生作品の異なる3人の講師がそれぞれの手法や設計ポイントを語る。
SDゼミは、全3回、水曜日19：00〜21：20開催。
①2004年12月15日（水）―まちづくり再生―
六波羅雅一（六波羅真建築研究室）
―「空堀商店街界隈長屋再生プロジェクト」で活躍中。
②2005年1月19日（水）―民家再生―
神谷昭雄（神谷昭雄建築研究室）
―現在、"民家再生"設計で活躍中。
③2005年2月2日（水）―ホテル再生―
梶原文生（都市デザインシステム）
―旅館再生やコーポラティブハウスを中心に活躍中。
教　室　アーバネックス備後町ビル6F
大阪市中央区備後町3-6-14
地下鉄御堂筋線「本町駅」下車徒歩3分
定　員　30名（定員になり次第締め切り）
受講料　一般18,900円、学生15,750円
日本建築家協会会員15,750円（CPD 6単位）
申込先　大阪ガスインテリアデザインスクール
TEL 06-6262-4089、FAX 06-6262-7202

ひょうごまちづくりセミナー

兵庫県が主催する「ひょうごまちづくりセミナー2004」が開催される。
このセミナーでは、安全・安心・魅力あるまちづくりに寄与した建築や功績のあった活動を顕彰する「人間サイズのまちづくり賞」表彰式を行うとともに、安全で安心なまちづくりに取り組むための講演が行われる。
日　時　2004年11月18日（木）13：30〜16：10
場　所　兵庫県公館大会議室―兵庫県庁すぐ近く―
神戸市中央区下山手通4-4-1
参加費　無料
申込み　参加希望者は、11月10日（水）までに、兵庫県県土整備部県土企画局都市政策担当課長まちづくり政策担当（〒650-8567　神戸市中央区下山手通5-10-1、TEL 078-341-7711、FAX 078-362-9487）へ。
●プログラム
第1部：第6回「人間サイズのまちづくり賞」表彰式
第2部：講演会「防犯まちづくり」（仮題）
講師／小出　治（東京大学工学部都市工学科教授）

ロレアル賞連続ワークショップ2004

「科学と芸術の出会い」をクリエイトするワークショップを、今年も11月4日から5回にわたって開催。
「色」というテーマに、科学・技術・芸術など各方面の専門家がそれぞれの視点でアプローチし、討論を展開する。モデレーターは小林康夫・東京大学教授、永山国昭・自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター教授。
③2004年11月19日（金）18：30〜20：30
「あなたの見ている色、私と同じ？」伊藤啓（東京大学分子細胞生物学研究所助教授）十村田純一（東京大学大学院総合文化研究科教授）
④2004年11月26日（金）18：30〜20：30
「輝く翅…森の中の動く宝石」木下修一（大阪大学大学院生命機能研究科教授）十針山孝彦（浜松医科大学医学部助教授）
⑤2004年11月27日（土）14：00〜17：00
「構造色…5億年の進化とナノテク」松井真二（兵庫県立大学高度産業科学技術研究所教授）十アンドリュー・パーカー（オックスフォード大学動物学部教授）
会　場　東京デザインセンター・地下2階ガレリアホール　TEL 03-3445-1124（当日のみ）
東京都品川区東五反田5-25-19
JR山の手線「五反田駅」東口下車徒歩2分
参加費　一般各回1,000円、学生無料
申込み　e-mailかFAXにて下記へ。
ロレアル　アーツ　アンド　サイエンス　ファンデーション（e-mail:rnakamura@gol.com、FAX 03-5308-2667、TEL 03-5308-2662）

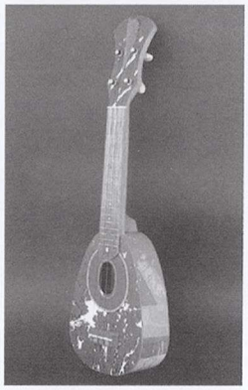
ART BOX NAGOYA 2004

竹中工務店名古屋支店設計部員の作品を集めた「ART BOX NAGOYA 2004」は、今年15年目を迎える。
日　時　2004年11月30日（火）〜12月4日（土）
10：00〜18：00（最終日は16：00まで）
場　所　名古屋ATビル・地下1階―入場無料―
名古屋市中区錦1-18-22
テーマ　「観　流　KAN　RYU」
主観・人生観・世界観・価値観・史観…
内　容　•ART BOX
30cm立方にこめる「ものづくり」の想い
•MASS ART―設計部員全員の集合作品―
網戸の網による造形

「村野藤吾と1940年代」展―京都芸術繊維大学にて―

第6回村野藤吾建築設計図展は、「村野藤吾と1940年代」をテーマに、戦中から戦後にかけての知られざる村野藤吾像に迫ろうとするもの。
京都工芸繊維大学が所蔵する村野藤吾の建築設計図の中から、1940年代の作品を選び、写真などと合わせて展示する。
シンポジウムも同時開催予定。
■展覧会「村野藤吾と1940年代」
会　期　2004年11月27日（土）〜12月26日（日）
10：00〜17：00　月曜日休館
会　場　京都工芸繊維大学・美術工芸資料館
京都市左京区松ヶ崎
京都市営地下鉄「松ヶ崎駅」下車徒歩10分
入　場　無料（図録は有料、会場にて申し込み）
■シンポジウム「村野藤吾と1940年代」
日　時　2004年11月27日（土）14：00〜17：00
場　所　京都工芸繊維大学工繊会館
（京都工芸繊維大学西キャンパス北側）
入　場　無料
定　員　100名（当日先着順、申し込み不要）
出席者　太田　隆信（坂倉建築研究所代表取締役）
福田　晴虔（西日本工業大学教授）
石田潤一郎（京都工芸繊維大学教授）
西村征一郎（京都工芸繊維大学）―司会―

伊達伸明　建築物ウクレレ保存計画



取り壊される建物から肌合いをそのまま生かしてウクレレを作るプロジェクトが始まったのは2000年。その5回目の展覧会には、昨年11月に惜しまれつつ姿を消した「扇町ミュージアムスクエア」もウクレレとなってよみがえる。ウクレレ制作は伊達伸明。

会　期　2004年11月9日（火）～21日（日）
　　11：00～19：00　月曜日休廊
会　場　アートスペース虹
　　京都市東山区三条通神宮道東入3丁目東町247
　　（都ホテル隣）TEL・FAX 075-761-9238
出　品　7本の「建築物ウクレレ」
　　川上邸ウクレレ、福岡邸ファイル、新世界厚生会館ウクレレ、扇町ミュージアムウクレレ、市原印刷所ウクレレ、野間邸ウクレレ、山下邸ウクレレ

■対談・佐藤浩司（民族学博物館学芸員）×伊達伸明
日　時　2004年11月13日（土）18：30～
場　所　良恩寺（アートスペース虹から5分）
満員になり次第締め切り。

●伊達伸明プロフィール
1964年兵庫県生まれ。1989年京都市立芸術大学工芸科漆工専攻卒業、1991年同大学院研究科工芸専攻修了。1988年京都デザインコンペグランプリ受賞ほか。2000年より建築物ウクレレ保存計画開始。2004年には連続トークライブ「ウクレレと歌留多で語る新世界」。

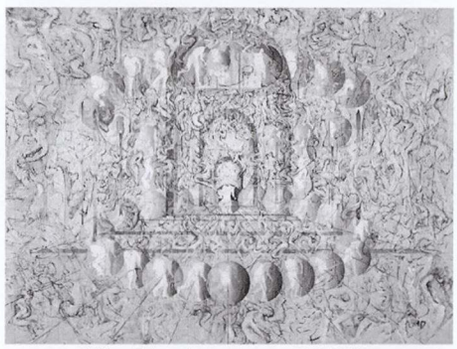
宇佐美圭司―『アテネの学堂』より歩み出す―

現代美術の拠点として、また音楽、映像等の幅広い文化活動の拠点として開かれたギャラリーをめざすアートコートギャラリーでは、画家・宇佐美圭司（1940年大阪生まれ）の300号（約291×291cm）の大作を中心に、油彩画14点、水彩画8点の展覧会を開催する。

会　期　2004年11月17日（水）～12月11日（土）
　　12：00～18：00（水曜日は20：00まで）
　　日・月・祝は休廊
会　場　アートコートギャラリー
　　大阪市北区天満橋1-8-5　OAPアートコート1F
入　場　無料

■イベント・ギャラリートーク
中井康之（国立国際美術館学芸員）×宇佐美圭司
日　時　2004年11月27日（土）15：00～16：30
申込み　メールかFAXにてアートコートギャラリー
　　（e-mail：info@artcourtgallery.com、FAX 06-6354-5449）へ

●宇佐美圭司プロフィール
『アテネの学堂』は線遠近法によって世界を表現し、



学堂・過去の声・500－1　宇佐美圭司　2002年
500号F　油彩

ルネサンス精神を歌いあげたラファエロの代表作。宇佐美の『アテネの学堂』に想を得たシリーズは、2002年、学堂のガラン配置の概略を構図としてもらうことからスタートした。
関西での個展は、1992年のライカ本社ビル（大阪市）以来のこと。近年は福井県越前海岸のアトリエで、制作三昧の日々を過ごす。京都市立芸術大学油画科教授。

「名古屋デザインDO!2004」展

「名古屋デザインDO!2004」では、「見えない気配 Invisible "Scents"」のテーマに世界62カ国から1336点の応募があり、入賞8点、入選13点が決定。この4回目のコンペで初めて、日本人がグランプリを受賞した。これらの入賞入選作品展を開催する。入場無料。

会　期　2004年11月11日（木）～21日（日）
　　11：00～20：00　会期中無休
会　場　国際デザインセンター4Fデザインギャラリー
　　名古屋市中区栄3-18-1
　　ナディアパーク・デザインセンタービル4F
　　TEL 052-265-2106

脇田美術館で入選作品展

軽井沢にある脇田美術館では、この秋「ファッションドローイングビエンナーレ2004」展覧会を開催中。公募したドローイングやビジュアルな作品の中から、入選した51作品を展示している。

会　期　2004年10月10日（日）～11月24日（水）
　　10：00～17：00　会期中無休
会　場　軽井沢脇田美術館　TEL 0267-42-2639
　　長野県軽井沢町旧道1570-4
　　JRしなの鉄道「軽井沢駅」下車、旧軽井沢銀座方面へ徒歩10分
入館料　一般1,000円、大高生600円、中小生500円

「ロートレック賛歌」

会　期　2004年11月20日（土）～2005年2月13日（日）
　　10：30～19：30　月曜日と12／31は休館
　　ただし12／27、1／3、1／10は開館
会　場　サントリーミュージアム［天保山］
　　大阪市港区海岸通1-5-10　TEL 06-6577-0001
入場料　大人1,000円、高大生700円、小中生500円
　　シニア（65歳以上）700円

アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレックが"ポスター作家"として活躍したのはわずか10年。その間に制作されたポスター31点は、美術作品として高く評価され、その造形性は様々な観点から研究されている。
サントリーミュージアム［天保山］では、開館10周年を記念して、当館が所蔵するポスター全31点を核に、ロートレックと同時代の19～20世紀のポスター芸術の展開をたどる。また、シェレ、ミュシャ、ボナール、コクトー、スタンランらが手掛けた名作ポスターから、ロートレックのポスターが後世に与えた影響を検証する。
2001年、ロートレック没後100年に、ロートレックへのオマージュとして100点のポスターが制作され、フランスで「ヌーヴォー・サロン・デ・サン」展が開かれた。レイモン・サヴィニャック、ポール・デイビス、ディック・ブルーナをはじめ、日本からは田中一光、日比野克彦、福田繁雄らが参加している。この100点が一堂に会するのは日本では今回が初めてのこと。

■開館10周年記念講演会「デザインとインダストリー」
講　師　鹿島　茂（フランス文学者）
日　時　2004年12月18日（土）14：00～15：30
会　場　海遊館ホール
　　サントリーミュージアム［天保山］隣
定　員　250名（入場無料）
申込み　11月30日までに、氏名等必要事項を記入してハガキ、FAX、ホームページのいずれかで、サントリーミュージアム［天保山］ロートレック講演会係（〒552-0022　大阪市港区海岸通1-5-10、FAX 06-6577-9200、http://www.suntory.co.jp/culture/smt/）へ。



展覧会の招待券希望者は日本建築協会へ。

アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
ディヴァン・ジャポネ
1892～93年
サントリーミュージアム［天保山］蔵

『秘められた黄金の世紀展―百済武寧王と倭の王たち―』

倭国（日本）は2000年前より中国や朝鮮半島の政治・文化の影響を強く受けて発展してきた。なかでも古墳時代５～６世紀の王の墓から発見される武器、馬具、装飾品などの金属工芸品は、先進文化と王権を象徴する壮麗なものになっている。

この展覧会では、百済の武寧王の時代を中心に、朝鮮半島や日本各地の古墳から出土した国宝・重要文化財、さらに当時を再現する復元品などを展示する。

会　期　2004年11月６日（土）～12月15日（木）
10：00～18：00　毎週月曜日休館

会　場　京都文化博物館　４階特別展示室
京都市中京区三条高倉　TEL 075-222-0888
地下鉄「烏丸御池駅」下車徒歩３分
阪急「烏丸駅」下車徒歩７分

入場料　一般1,000円、大高生700円、中小生400円

展示品　国宝金銅壷鐙（福岡県宮地獄古墳）、重文亀甲繋鳳凰文銀象嵌大刀（島根県岡田山１号墳）、重文金環・首飾り（兵庫県宮山古墳）、国宝金銅装飾金具（奈良県藤ノ木古墳）、重文金銅装鞍金具（千葉県金鈴塚古墳）、重文金銅装頭椎大刀（群馬県綿貫観音山古墳）、金帽曲玉・金製花形装飾（韓国公州武寧王陵）など約340件



金銅装亀形飾金具
（長崎県・笹塚古墳出土）

■講演会「百済からみた日本の古墳文化」（申込要）
日　時　2004年11月13日（土）13：30～15：00
会　場　京都文化博物館別館
講　師　吉井秀夫（京都大学助教授）
展覧会の招待券希望者は日本建築協会へ。

国立国際美術館「マルセル・デュシャンと20世紀美術」展

シーザー・ペリの設計になる国立国際美術館は、11月３日、大阪・中之島にオープンした。

開館を記念して、“現代美術の父”“ダダイズムの巨匠”マルセル・デュシャン（1887～1968）を核に、20世紀の美術をとらえ直す「マルセル・デュシャンと20世紀美術」展が開かれる。観覧割引券あり、希望者は日本建築協会へ。



国立国際美術館のエントランスゲート
1998年着工
2004年竣工

第１部では、デュシャンの初期絵画から晩年の仕事まで約70点を紹介。第２部では、デュシャンに触発された国内外の美術家の作品約80点を展示する。

会　期　2004年11月３日（水）～12月19日（日）
10：00～17：00（金曜は19：00まで）
月曜休館

会　場　国立国際美術館（大阪市北区中之島４丁目）
地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」から徒歩10分

観覧料　大人1,300円、高大生900円、小中生500円

展　示　《階段を降りる裸体No.2》《花嫁》《「大ガラス（東京版）》ほか。

■関連講演会―当館地下１階講堂において。観覧券要。
11月13日（土）14：00～「デュシャンにフェルメールと桂枝雀が与えられたとせよ」森村泰昌（本展出品作家）
11月27日（土）14：00～「いまなぜマルセル・デュシャンなのか」北山研二（成城大学教授）
各日とも、当日11：00より入場整理券を配布。

京都北山景観シンポジウム＋関西交流会へ参加者募る

（社）日本建築美術工芸協会（略称aaca）は、京都・北山の地で、aaca関西会員との交流及び会員増強のための研修会を実施する。

aaca会員に限らず参加者を広く募集しており、参加希望者はTELまたはFAXで、（社）日本建築美術工芸協会（TEL 03-3457-7998、FAX 03-3457-1598）へ申し込まれたい。

期　間　2004年11月21日（日）～11月23日（火）
・日帰りコース／約15,000円
・１泊２日コース／22,500円（宿泊代ほか）
・２泊３日コース／40,000円（２泊十飲食費）

集　合　JR新幹線京都駅八条口・新都ホテル前
11月21日（日）10：30～10：50に集合

行　程　●11月21日（日）
中田林業磨丸太作業場→中尾山宗連寺で北山の景観を見る→北山杉資料館→山で枝ウチ作業の見学→美山町「枕川楼」でぼたん鍋
●11月22日（月）
美山町茅葺き民家集落めぐり→「そばの實」で手打ちそばの昼食→北山杉が主体の京北町立京北第１小学校見学→高山寺、常照皇寺の見学予定→京都八条口到着・解散または宿泊
●11月23日（火）
朝食後、自由解散

茶室建設記録映画鑑賞

中央工学校軽井沢研修所に、茶室・広間・立札席棟からなる施設「南暁」が先年竣工し、建設過程の記録映画が映画監督・今村昌平氏によって作られた。

茶室「大庵」は、利休が大坂屋敷に設けた深三畳台目を復元したもの。台目構えはこの茶室で創始されたと伝えられ、茶室史上注目すべき作品である。

『利休幻の茶室』は、この茶室の計画から完成に至る工程の記録を編集したものであり、『数寄工匠』は、工事に従事した職人衆の仕事振りと技法の一部を収録編集したものである。この工事の施工は京大工が手掛けている。

ビデオ２巻の鑑賞会が京都・表千家の会館で開催されるが、上映に先立って、この施設の計画・設計・監修に当たった中村昌生氏から解説がある。

なお、当日、会館では展示会を催し、呈茶が会館の好意で準備されている。

日　時　2004年11月27日（土）13：00～
●13：30～14：00　中村昌生氏による解説
●14：00～15：30　『利休幻の茶室』
●15：30～16：30　『数寄工匠』
●～17：00　質疑応答

会　場　表千家北山会館（地階・清友ホール）
京都市北区上賀茂桜井町61
TEL 075-724-8000

定　員　120名

参加料　500円

主　催　㈶京都伝統建築技術協会

申込み　参加希望者は、ハガキまたはFAXにて、（社）日本建築協会（〒540-6591　大阪市中央区大手前1-7-31、FAX 06-6946-6984）へ氏名・住所・連絡先を明記して申し込む。

大阪・南港で展示会開催

㈳日本能率協会は、住宅建材・設備の展示会「ホームビルダーズエキスポOSAKA 2004」を、住宅・建築関係者、またこれから家を建てようという人を対象に開催する。入場無料。

会　期　2004年11月25日（木）～27日（土）
10：00～17：00

会　場　インテックス大阪２号館（大阪・南港）

展　示　住宅建材・部材、住宅設備・システム、エコ・環境関連製品、震災対策ゾーン

■特別講演会「平成の名建築・金閣寺常足亭（茶室）工法とこれからの建築」
講　師　“数寄屋大工”木下孝一棟梁
日　時　2004年11月26日（金）14：00～15：30
会　場　インテックス大阪６号館・２階会議室Ｆ
受講料　2,000円
後　援　ホームビルダーズエキスポOSAKA事務局
詳しくは、主催の新建新聞社（TEL 026-234-1233）へ。

日本建築協会

月間の動き

【平成16年 9月分】

常任理事会

第4回常任理事会
9月22日（水）15：00～16：15
出席者　佐野会長ほか8名
議　事（1）平成16年度収支予算執行状況
（2）後援名義等の使用
（3）常設委員会事業の進捗状況
（4）名誉正会員推薦基準
（5）その他

編集委員会

第6回編集委員会
9月8日（水）18：00～19：40
出席者　設楽委員長ほか5名
議　事（1）2004年10月号～12月号特集経過報告
（2）2005年1月号以降の特集企画
（3）作品作風、広告企画、シリーズ頁等の報告・検討
（4）収支状況報告
第6回構造分科会
9月3日（金）18：00～20：00
出席者　肥嶋幹事ほか1名
議　事（1）「構造の頁」の企画
（2）10月号「巨大地震にそなえて」特集経過報告
第4回設備分科会
9月1日（水）18：00～20：00
出席者　梶井幹事ほか2名
議　事（1）「銭湯～心地よさをもとめて～」特集事後報告
（2）「設備の頁」の企画
（3）来年の設備特集
第6回施工材料分科会
9月30日（木）17：00～18：30
出席者　吉田幹事ほか3名
議　事（1）編集委員会の報告
（2）2005年2月号特集テーマ「健やか」
（3）今後のスケジュール
第6回法令分科会
9月1日（水）14：00～15：30
出席者　山口幹事ほか4名
議　事（1）「法令コーナー」の企画
（2）来年の法令特集
（3）情報交換
第6回作品作風小委員会
9月30日（木）19：00～20：30
出席者　中村副委員長ほか4名
議　事（1）作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
（2）「gallery」掲載報告・予定
（3）編集委員会の報告
（4）会員作品特集「私の空間作法」
第6回広告企画小委員会
9月8日（水）17：00～18：00
出席者　設楽・渡邉正副委員長ほか5名
議　事（1）2004年10月号以降の特集企画ならびに特集関連広告
（2）広告企画（表紙広告その他）
（3）収支状況報告
第4回計画分科会ー計画系ー
9月14日（火）18：30～20：30
出席者　紅谷幹事ほか2名
議　事　1月号「震災から10年～震災により生まれた都市再生の潮流～」特集の具体化

事業委員会

第4回情報見学小委員会
9月9日（木）18：00～19：15
出席者　瀬戸川委員長ほか7名
議　事　事業企画の報告と検討ほか
第3回若い会員の集い小委員会
9月13日（月）19：00～20：15
出席者　杉本副委員長ほか2名
議　事　本年度の事業企画について
第21回茶室見学会
奈良の八窓庵ー伝古田織部ー
9月17日（金）14：00～16：00
講　師　中村　昌生（京都工芸繊維大学名誉教授）
参加者　21名

出版委員会

第4回出版委員会
9月16日（木）18：00～19：00
出席者　上原委員長ほか7名
議　事（1）＜プロのノウハウ＞と特装本の経過報告
（2）今後のテーマと執筆者選定
第26回「建築施工図の作図方法とチェックポイント」小委員会（仮称）
9月21日（火）18：00～18：40
出席者　田中主査ほか2名
議　事（1）「建築施工図の作図方法とチェックポイントに関して」事例報告
（2）今後の作業予定

入会者(敬称略)

〔個人会員〕

大竹　康宏（大和ハウス工業）	岸　一（アトリエジグソー）	坂口　武司（竹中工務店）
澤村　晋次（日建設計）	島田　太郎（日建設計）	須藤　貴司（東畑建築事務所）
田鍋　稔（鹿島建設）	槻尾　輝雅（大林組）	中川　洋一（安井建築設計事務所）
長沢　正行（竹中工務店）	中嶋　潤（大林組）	福田　英志（きんでん）
水谷　俊博（佐藤総合計画）	山野上　和志（鹿島建設）	横山　満（日建設計）
寺谷　啓史（竹中工務店）	高田　啓介（新晃工業）	八尋　浩平（東畑建築事務所）

空調・衛生・クリーンルーム設備
（設計・施工）

朝日工業社

本社・本店　東京都港区浜松町1-25-7　電話03(3432)5711
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59 電話06(6302)2270
支　　店　北海道/東北/北関東/横浜/名古屋/中国/九州

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
関西支社

常務取締役支社長　髙橋幸久

大阪市中央区高麗橋4丁目3番7号　電話大阪(6202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　社　北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・北関東・中部・九州

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)6441-8231
東京本社　〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　社　名古屋・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

より快適な水環境をめざして
給排水衛生設備，冷暖房設備，消火設備の設計，施工

株式会社西原衛生工業所大阪本店

大阪本店　〒531-0071 大阪市北区中津六丁目8番4号
TEL 06-6458-3628(代表)
本　社　〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目6番18号
TEL 03-3452-7441(代)
支　店　札幌・東北・新潟・東関東・横浜・名古屋・九州

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　宅　清光
常務取締役関西支店長　本木　満

関西支店　大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル　電話 06(6350)8100
本　社　東京都千代田区有楽町1－4－1　電話 03(3502)6103
支　店　北海道・東北・関東・千葉・横浜・北陸・名古屋・京都・神戸・四国・中国・九州

OKUJU
スペース クリエイター

建築に革命をもたらした技術がある
「大規模天井無足場工法」

内外装創作パネル・システム天井・間仕切
株式会社オクジュー

本　社
大阪市北区西天満5丁目3番7号　〒530-0047
TEL(06)6312-4131　FAX(06)6312-7998
東京・九州・横浜・南九州・名古屋・上海

CHOYO

人がいる多彩なフィールドで、
新しい限界に挑戦しています。

電気設備設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本貴士

本　社　〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目2-4(朝日ビル)
TEL 06(6385)1361(代)　FAX 06(6385)1050

Digital Pri-Press

AOBA PRINTING CO.,LTD.

代表取締役社長　依藤孝行

青葉印刷株式会社

〒534-0027 大阪市都島区中野町2丁目10番11号
Phone.06-6351-5428 Fax.06-6351-5299

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

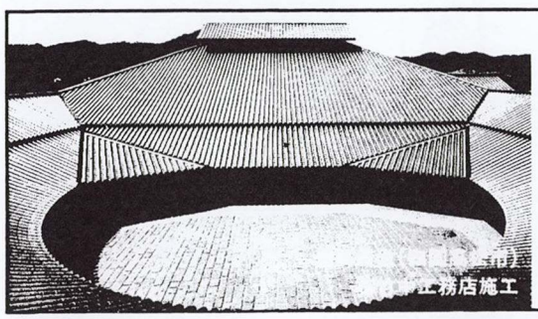
本　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル1・2階)
〒542-0066 電話 大阪（06）6768－5031代表
メンテナンス　電話　大阪（06）6768－1651代表
東京支社　東京都文京区小石川1丁目12番14号(日本生命小石川ビル7階)
〒112-0002　電話（03）5689－2351代表

www.naniwa.com
We have hope

■印刷事業　ポスター、カタログ、パンフレット、書籍、年鑑、社史、雑誌、文字、画像データ処理
■メディア事業　SPプランニング・コンサルティング、ITソリューション、web及びメディアコンテンツ企画制作、

株式会社NPCコーポレーション

本　社　〒530-0043 大阪市北区天満1-9-19
tel:(06)6351-7271(代)　fax:(06)6352-7479
第二ビル　〒530-0043 大阪市北区天満1-11-8
tel:(06)6351-0128(代)　fax:(06)6351-0208
東京支社　〒105-0004 東京都港区新橋6-17-2
tel:(03)3433-5211(代)　fax:(03)5776-7733
(旧社名ナニワ印刷㈱、日本データネット㈱)



〒556-0024
大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
ナニワ瓦株式会社
あらゆる屋根工事の相談は、
☎ 六五六一～七四五四
ファックス 六五六一～七四一六

デンカCSAファミリー製品

●デンカCSA（膨張性混和材）　コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材）　鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント）　コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材）　地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材）　コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・綾野（07727）2−2220
舞鶴（0773）76−0133

金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）6332−6861
TEL 東京（03）3272−8501

小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）6443−6181

光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）6252−6000

東郷化成株式会社
TEL 滋賀・守山（0775）83−2381
TEL 大阪（06）6877−1581

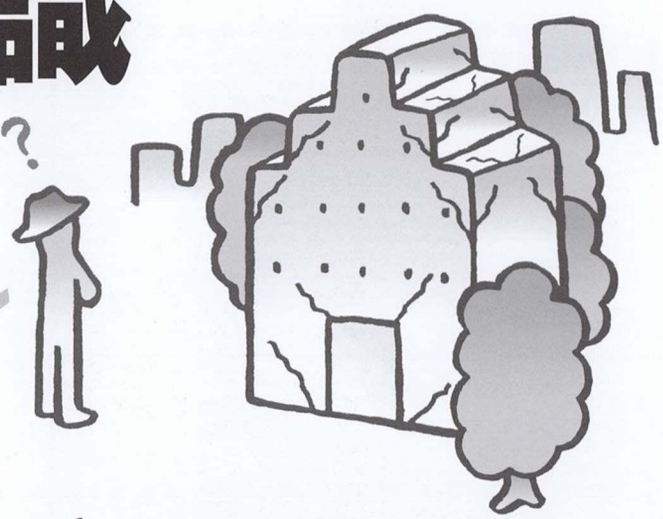
企画・日本建築協会

《プロのノウハウ》

建築トラブルにみる常識非常識

荒川治徳 著
ARAKAWA Harunori

定価2310円（本体2200円）
四六判・240頁
ISBN4-7615-2348-4



壁に入ったひび割れは必ずしも欠陥ではない!?

〈本書の内容〉

第1章　コンクリートはなぜひび割れるのか
第2章　コンクリートの強度ってなんだろう
第3章　左官は職人の技術
第4章　建物を支える基礎と地盤
第5章　施工技術は意外にローテク
第6章　木の性質を知ろう
第7章　お互い信頼して家をつくるために

学芸出版社　〒600-8216
京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
Tel 075-343-0811　http://www.gakugei-pub.jp/
Fax 075-343-0810　E-mail　info@gakugei-pub.jp

透明度∞

EXグラスウォールが創り出す透明建築の世界。



E X　G L A S S W A L L

透明感のある建築にしたい。そんな声に応えて登場したのが、トステムEXシリーズの新商品「EXグラスウォール」です。外から見えるのはわずかに60mmの横材だけという透明感。内部においても、構造材をガラス面から265mm離すことでぬけるような広がりを与え、まるでガラスが自立しているようなフロート感覚を実現しました。さらに開口部についても、ドットポイントの特殊金物でガラスを支持することで框をなくし、開放時のすっきり感を獲得。徹底して透明性にこだわりました。外からも内からも“本物の透明性”を追求した「EXグラスウォール」。さあ、新しい“本物の透明建築”へのスタートです。

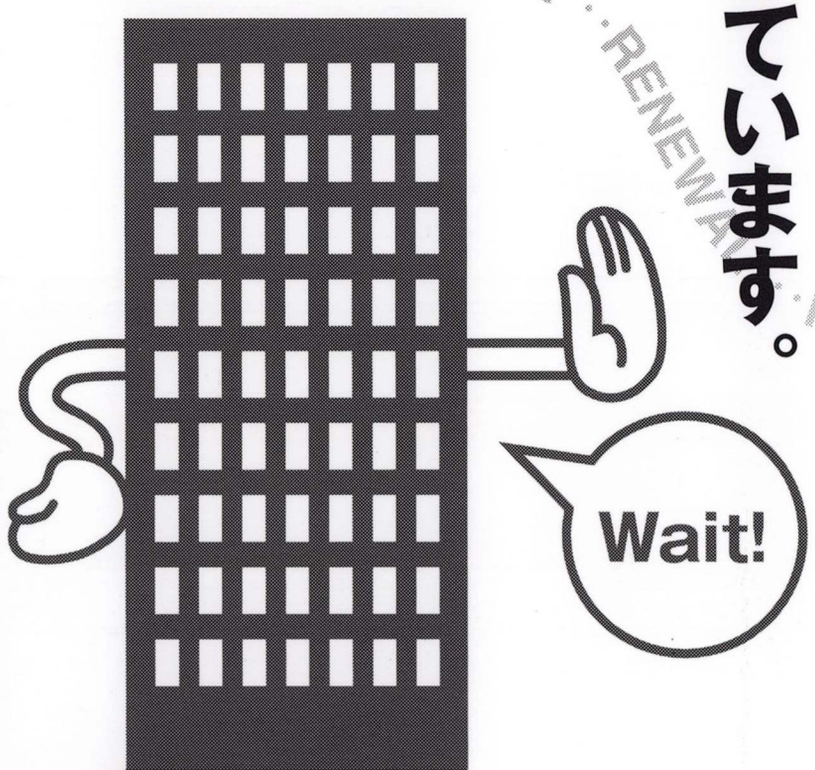
TOSTEM

トステム株式会社 ビル建材本部 関西営業開発部
〒530-0005 大阪市北区中之島3-6-32 ダイビル311号室
TEL(06)6441-0720

Kinden
CORPORATION

是が非でもリニューアルしていただこう、
そんな意識を持たないことから、
きんでんは、始めています。

RENEWAL･･･RENEWAL･･･RENEWAL･･･RENEWAL･･･RENEWAL･･･



施設管理のことでお困りですか？
まず、専門スタッフが診断いたします。

省エネルギーや環境対策、室内環境の快適性、設備システムの情報化対応などにお困りでしたら、〈きんでん〉にご相談ください。すぐに電気、空調、内装などの専門スタッフが診断にお伺いします。いつでも施設や設備を安心してお使いになれるよう、診断結果とお客様のニーズをもとに中長期リニューアル計画をご提案します。また、改善するところがあるなら、順次対応してまいります。総合設備エンジニアリング〈きんでん〉は、診断から、計画・設計・施工・メンテナンス・移転・引越しまでをトータルにサポートし、お客様に、信頼と満足をご提供いたします。

お客様の立場で、リニューアルを考えたい。

きんでん

本　　店　大阪市北区本庄東2丁目3番41号　〒531-8550　☎06-6375-6000
東京本社　東京都千代田区九段南2丁目1番21号　〒102-8628　☎03-5210-7272
http://www.kinden.co.jp/

建築と社会 11 2004 vol.85 no.992
社団法人 日本建築協会 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 電話:06-6946-6981 FAX:06-6946-6984 http://www.aaj.or.jp
毎月1回1日発行 昭和24年3月19日第3種郵便物認可 ISSN 0912-8182
定価1,200円(税込) 正会員の購読料は会費に含めて徴収
雑誌 03379-11